



第2章

地区別の景観づくりの方針

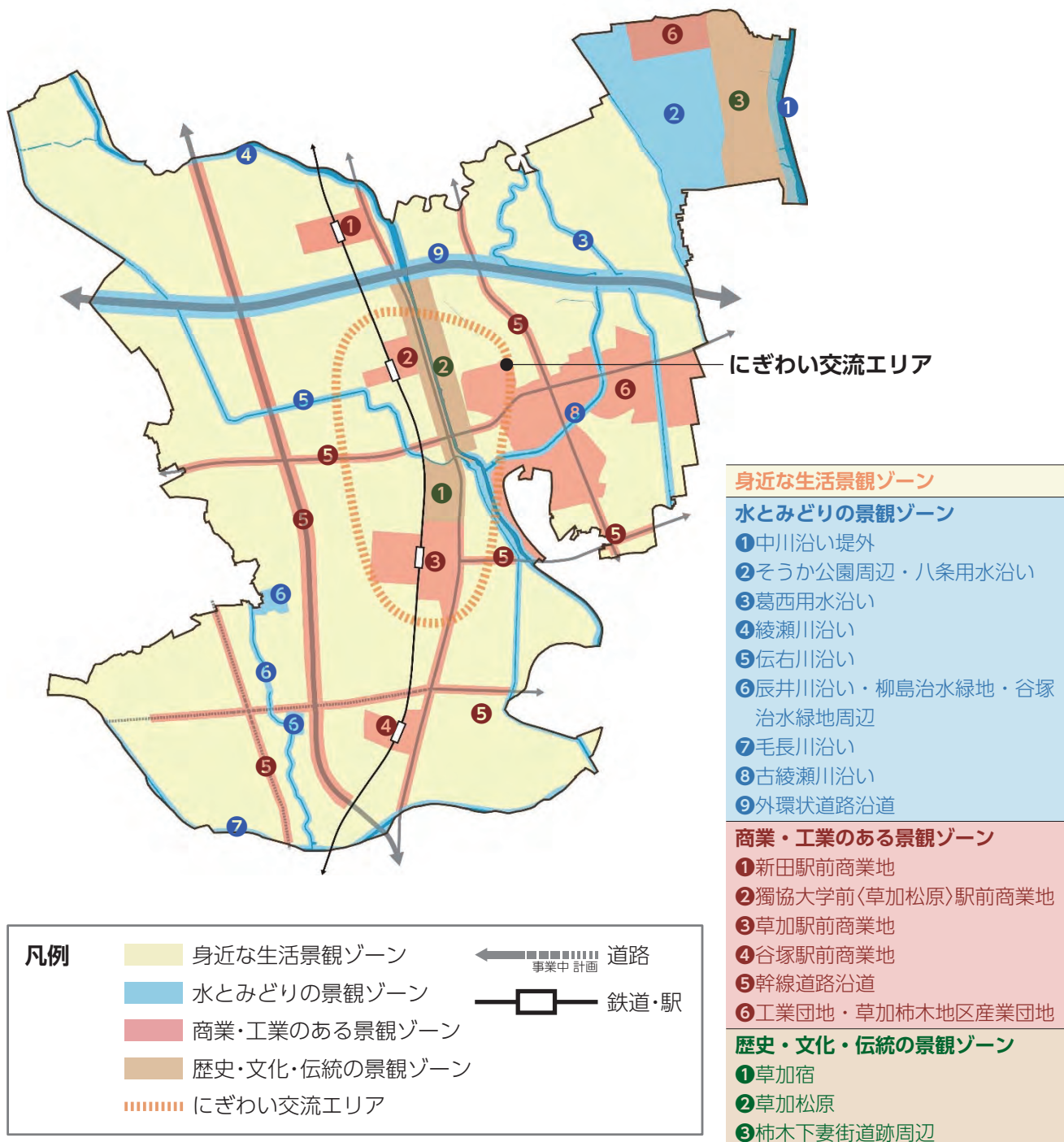


1 ゾーン別の景観づくりの方針

地域の特性に応じた景観づくりの推進を図るため、市内を縦横に流れる河川・水路や幹線道路、商業・工業などの土地利用を考慮し、景観計画区域を「身近な生活景観ゾーン」「水とみどりの景観ゾーン」「商業・工業のある景観ゾーン」「歴史・文化・伝統の景観ゾーン」の4つのゾーンに区分し景観づくりの方針を定めます。

さらに、4つのゾーンとは別に、都市計画マスタープランに位置付けられた「にぎわい交流エリア」における景観づくりの方針を定めます。

■景観ゾーン区分図



(1) 身近な生活景観ゾーン

①ゾーンの範囲と景観の現況

地域の人々の取り組みにより良好な景観を守り育てられている、住宅地を主体としたゾーン

市の中央を南北に走る東武スカイツリーラインや、市内を縦横に走る国道・県道などの幹線道路を軸にして周辺に都市化が急速に進行し、農地と住宅地、あるいは住宅地と工業地が様々な度合いで混在した市街地が形成されており、様々な居住環境の課題を抱えています。

急激に市街化したことにより、戸建て住宅の住宅地が無秩序に形成されている地域が多く、住宅地を結ぶ道路も、かつては農道だった狭い道路が数多くあります。建物密度が高く都市基盤が未整備であり、道路、公園、オープンスペースなどが不足している地域もあります。身近な自然としての樹林、緑地、農地なども減少しました。また、古くからある住宅の中に次々と新規の住宅が建築され、住宅地としての調和も乱れています。

一方、土地区画整理事業が施行された地区では、道路や宅地、公園を計画的に整備することで整然とした良好な住宅街が形成されています。

②景観づくりの基本方針

ゾーンの現況を改善し、また特徴を活かしながら、市民が誇りのもてる快適で心地よいまちなみ景観づくりを進めていきます。

活かす (活用)	● 開発行為により一団の専用住宅が整備される場合は、良好な住宅地を整備していきます。 ● 道路沿いや公園・広場を中心に行われている、花やみどりを育てる市民の活動を支援し、市民の自主的な取り組みを大切にしながら、より良い景観づくりを進めていきます。
守る (保全)	● 土地区画整理事業によりまちなみの整備が終わった地区については、既に形成された良好な景観を将来にわたって守り、さらに地域の価値を高めていきます。 ● 点在する屋敷林や大木、生垣などの緑化や維持管理を支援していくことにより、かつての原風景を感じさせる郷土の景観を守っていきます。 ● 貴重なオープンスペースである農地の広がる景観を守っていきます。
創る (創造)	● 今後まちなみが整備される地区については、形態意匠などのまちなみづくりのルールに基づき、一定の統一感の下で個性を表現したまちなみ景観を創出していきます。 ● 開放性のある外構の整備を推奨し、安全性の向上に加え、ゆとりある魅力的なまちなみ景観を創出していきます。

③区域別の景観づくりの方針

- 土地区画整理事業が施行された地区では、良好な住環境を将来にわたって守り、周辺環境と調和を図りながら積極的に緑化を進め、地区内の街路樹や公園と一体となったみどり豊かなまちなみ景観づくりを進めていきます。
- 獨協大学前〈草加松原〉駅西側では、草加松原団地の建て替えなどに伴い、秩序ある土地利用が図られていることから、積極的に統一感のある景観づくりを進めていくとともに、駅とまちをつなぐ回遊性のあるネットワークを活かし、商業施設と住宅地が調和したまちなみ景観づくりを進めていきます。
- 既成市街地においては、周辺環境と調和を図りながら積極的に緑化を進め、みどり豊かなまちなみ景観づくりを進めていくとともに、住宅地と工業地が混在している地域においては、落ち着いたある形態意匠やボリューム感のあるみどりの配置を誘導するなどをして、住宅地と工業地が共存した、親しみのある景観づくりを進めていきます。
- 地域で暮らす住民一人ひとりが身近な生活環境を整えていくことにより、快適で心地よい生活環境を築き、そこに住まう人や訪れる人が誇りと愛着をもてるまちなみ景観づくりを進めていきます。



住宅地（新栄 2 丁目）



建て替えられた草加松原団地
(松原 2 丁目)



建て替えられた草加松原団地
(松原 2 丁目)



既成市街地に新たに整備された住宅地
(瀬崎 2 丁目)



既成市街地に新たに整備された住宅地
(稻荷 2 丁目)

(2) 水とみどりの景観ゾーン

①ゾーンの範囲と景観の現況

河川・水路沿いや田園が広がり、水とみどりあふれる自然環境が住宅地と調和し、良好な景観が保たれているゾーン

市内全域を縦横に流れる河川や水路は、草加市の景観上の特徴となっています。河川や水路は、均質で平らな地形を区分する要素であるとともに、市街地のまちなみ景観にうるおいを与える重要な要素ともなっています。

その一方、草加市は長らく洪水による水害対策の問題を抱え、治水対策を優先した河川改修により直立護岸や人工護岸などの護岸整備が行われ、親水機能は軽視されてきました。また、生活排水や工業排水などが流れ込むことにより、河川や水路の水質は汚濁されてきました。

また、市の周辺部に多く残されていた、身近な自然としての樹林、緑地、農地などは急速な市街化に伴い減少し、まちは個性を失い、うるおいのないものとなってきています。

しかし、自然的な護岸や親水性のある水辺空間が整備され、水辺を活かした景観づくりが進められるほか、大雨時に河川の水を一時的に貯留する2か所の治水緑地では、平時は広々とした水とみどりの景観が人々に親しまれています。

②景観づくりの基本方針

ゾーンの現況を改善し、また特徴を活かしながら、水とみどりがあふれる豊かな自然環境と調和したまちなみ景観づくりを進めていきます。

活かす (活用)	● 市内を河川や水路が縦横に流れている特徴を活かし、河川を軸として積極的に緑化していくことにより、水とみどりの景観づくりを進めていきます。 ● 河川沿いにおける花やみどりを育てる市民の活動を支援し、市民の自主的な取り組みを大切にしながら、より良いまちなみ景観づくりを進めていきます。
守る (保全)	● 水路や河川の改修に当たっては、水路や河川沿いに自然に育っている樹木を残すことで地域の自然的な景観を守っていきます。 ● 点在する屋敷林や大木、生垣などの緑化や、その維持管理を支援していくことにより、かつての原風景を感じさせる郷土の景観を守っていきます。 ● 貴重なオープンスペースである農地の広がる景観を守っていきます。
創る (創造)	● 河川沿いは、遊歩道、散策路など歩行者専用道路を整備するなどして、親水性の高い空間を創出していきます。 ● 水辺やまとまったみどりに面する地域では、建築物や工作物の形態意匠に配慮し、自然環境に調和した景観を創出していきます。 ● みどりの多い地域では、地域に根ざした緑化を進めることで、周辺と調和した景観を創出していきます。

③区域別の景観づくりの方針

①中川沿い堤外

- ・中川の自然景観を次世代に継承するため、積極的に守り、自然景観と調和するうるおいのあるまちなみ景観づくりを進めていきます。

②そうか公園周辺・八条用水沿い

- ・そうか公園や八条用水と遊歩道などの景観資源を活かしながら、田園風景の残る自然景観と調和するうるおいのあるまちなみ景観づくりを進めていきます。
- ・草加柿木地区産業団地周辺の豊かな自然環境や田園風景を保全します。

③葛西用水沿い

- ・桜並木の維持更新を図りつつ、住んでいる人や訪れた人に安らぎや親しみを抱かせる水とみどりの空間を積極的に守り、これらの自然景観と調和するうるおいのあるまちなみ景観づくりを進めていきます。

④綾瀬川沿い

- ・草加松原遊歩道や桜並木の遊歩道などの自然景観を次世代に継承するため積極的に守り、水とみどりが調和するうるおいのあるまちなみ景観づくりを進めていきます。

⑤伝右川沿い

- ・河川沿いの緑化、沿川住宅地の緑化を進めることにより、周囲に暮らす人々の生活に溶け込み、豊かなみどりに囲まれた親しみを感ずる水辺空間を創出します。
- ・峯分橋や桜並木などの景観資源を活かし、訪れる人の憩いの場としてふさわしい、うるおいのあるまちなみ景観づくりを進めていきます。

⑥辰井川沿い・柳島治水緑地周辺・谷塚治水緑地周辺

- ・河川沿いや治水緑地周辺の住宅地の緑化を進め、水辺空間と調和したうるおいのあるまちなみ景観づくりを進めていきます。
- ・農地などの豊かなみどりを次世代に継承するため、積極的に守り、訪れる人の憩いの場としてふさわしいまちなみ景観づくりを進めていきます。



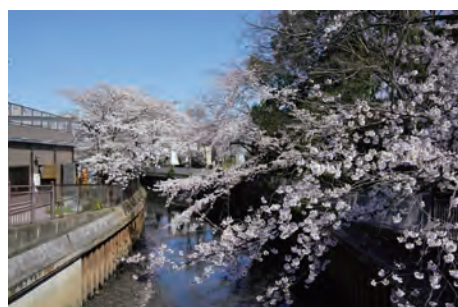
中川



八条用水と桜並木



綾瀬川と草加松原



峯分橋からみた伝右川と桜並木



谷塚治水緑地と周辺の住宅地

⑦毛長川沿い

- ・桜並木やコスモスなどの草花があふれる空間づくりを進めていくとともに、これらの自然景観を次世代に継承するため、積極的に守り、親しみのあるまちなみ景観づくりを進めていきます。

⑧古綾瀬川沿い

- ・住んでいる人や訪れた人にやすらぎや親しみの気持ちを抱かせる水とみどりの空間づくりを行い、自然景観と調和するうるおいのあるまちなみ景観づくりを進めていきます。

⑨外環状道路沿道

- ・桜並木や季節感のある様々な樹木や草花が植栽された緑地帯や遊歩道に配慮し、市民の憩いの場としてふさわしい、うるおいのあるまちなみ景観づくりを進めていきます。



柳島治水緑地と周辺の住宅地



毛長川沿い（新里町）



古綾瀬川沿い（八幡町）



外環状道路沿道（旭町3丁目）



外環状道路沿道（八幡町）

(3) 商業・工業のある景観ゾーン

①ゾーンの範囲と景観の現況

駅周辺や幹線道路沿道の商業施設が集積しているゾーン、中小企業者による工場や近代的な大規模工場が集積しているゾーン

草加市は市内の4つの駅を中心に多彩な商業地を形成しています。しかし、人々の生活に密着することで発展してきた商店街も、大型総合店やコンビニエンスストアなどの出現や自動車社会の進展、人々の生活様式の変化などを受けて、徐々に衰退しています。

草加駅東口と谷塚駅東口、また獨協大学前〈草加松原〉駅西口における市街地整備によって、駅前広場などのオープンスペースが形成されるとともに、公益・商業施設が複合的に集約された高層施設は、現在も地域のランドマークとなっています。

東部には大型の工場が整然と立地した大規模な工業団地が形成されており、県内でも有数の工業出荷額を誇り、工業都市としての顔をもっています。一方、市の北部では、新たな産業団地の建設が進められています。

市内を縦横に走る主要幹線道路に沿って、沿道型の大規模な商業施設が数多く立地していますが、これらの施設は目立つ色彩の外壁や大規模な広告物を設置しており、不調和な沿道景観が生じています。

住宅と工場が混在した地域や、工場の撤退した跡地に分譲住宅や集合住宅が建設されるなど工業用地から住宅用地へと転換された地域では、住工が不調和に入り組み、まちなみとしてのまとまりが崩れてきています。

②景観づくりの基本方針

ゾーンの現況を改善し、また特徴を活かしながら、商業地、工業地が住宅地と調和したにぎわいのあるまちなみ景観づくりを進めていきます。

活かす (活用)	● 商業地では、多様なしつらえもにぎわいの一つの側面となるため、一定の統一感の下で個性を活かし、また景観を阻害する要因を取り除いていくことにより、より魅力ある景観に誘導していきます。 ● 商店街では花の設置やイルミネーションなど様々なイメージアップを図る活動が行われており、これらの市民の自主的な取り組みを支援しながらより良いまちなみ景観づくりを進めていきます。 ● 駅周辺における行政と町会、商店会等の協働による清掃や捨て看板の撤去等の活動を大切に、安心して暮らし訪れることのできる、清潔で美しいまちなみ景観を市民とともに創出していきます。 ● 工業地で特に敷地規模の大きい工場では、外周部にまとまったみどりを確保するとともに、事業者が景観に配慮した維持管理をしてもらうことで、より良いみどりの景観づくりを誘導していきます。 ● 幹線道路沿いの街路樹の管理者に景観に配慮した維持管理をしてもらうことで、より良いみどりの景観づくりを誘導していきます。
---------------------	---

守る (保全)	● 駅前広場を適切に維持管理し、駅前における魅力的なオープンスペースを守っていきます。 ● 商店街や個店としての魅力を見出し、歩道の確保に努めていくことにより、人々の生活に密着した商店が通り沿いに連続する、身近な商店街の景観を守っていきます。
創る (創造)	● 商業地の建築物や工作物は、色彩のバランスに配慮し、一定の統一感の下で、まちのにぎわいが感じられる形態意匠を工夫し、人が集まるまちなみ景観を創出していきます。 ● 工業地の建築物や工作物は、形態意匠やその規模にふさわしいボリューム感で緑化を行い、やすらぎや親しみが感じられる景観を創出していきます。

③区域別の景観づくりの方針

①新田駅前商業地

- 東口・西口で施行される土地区画整理事業に合わせ、駅前や駅に向かう道路沿道を主体とした、にぎわいと親しみのもてる、住宅地と調和のとれたまちなみ景観づくりを進めていきます。
- 特に東口地区においては、まちづくりのルールを踏まえたまちなみ景観づくりを積極的に進めていきます。



新田駅東口

②獨協大学前〈草加松原〉駅前商業地

- 東口周辺では、駅前広場と駅前商店街を中心として、地域に密着した商店街の形成を誘導し、秩序とにぎわいが感じられるまちなみ景観づくりと、草加市のシンボルである草加松原や綾瀬川の歴史や風格の感じられるまちなみ景観づくりに配慮します。
- 西口周辺では、獨協大学、中央図書館や松原団地西口公園などの景観資源を活かし、ゆとりや落ち着きのあるまちなみ景観づくりとともに、商業地と住宅地、高層建築物が調和する形態意匠に配慮し、共存したまちなみ景観づくりを進めていきます。



松原団地西口公園と周辺の住宅地

③草加駅前商業地

- 東口周辺では、草加市の中心市街地、玄関口としてふさわしいまちの表情となるよう、魅力的なまちなみ景観を創出していきます。また、ゆとりのある沿道空間を整備するとともに、通りに面する建物の低層部のしつらえを工夫し、格調高い活気のあるまちなみ景観づくりを進めていきます。



草加駅東口の商業施設

- 歴史・文化・伝統の景観ゾーンにつながる旧道沿いでは、かつての宿場町としての歴史的な趣のあるまちなみ景観など、歴史や文化、伝統を活かしたまちなみ景観づくりを進めていきます。
- 西口周辺では、市の玄関口としてふさわしいまちの表情となるよう、ゆとりのある沿道空間を創出し、通りに面する建物の低層部のしつらえを工夫し、格調高い活気のあるまちなみ景観づくりを進めていきます。

④ 谷塚駅前商業地

- 東口周辺では、駅前や駅前通り沿いを中心として、秩序やにぎわいが感じられる形態意匠を工夫し、人が集まる魅力的なまちなみ景観づくりを進めていきます。
- 西口周辺では、玄関口としてふさわしい、暮らしを支える地域に密着した商店街の形成を誘導し、にぎわいと親しみのあるまちなみ景観づくりを進めていきます。

⑤ 幹線道路沿道

- 周辺環境に配慮し、殺風景な印象を改善し、秩序が感じられるまちなみ景観づくりを進めていきます。
- 道路に沿ってボリューム感のあるみどり空間を配置し、うるおいのある沿道空間を創出していきます。特に、河川の近くに位置する場所では、みどりあふれる豊かな自然環境との調和に配慮します。
- 屋外広告物は、色彩や掲出方法を工夫し、秩序ある沿道景観づくりを進めていきます。

⑥ 工業団地・草加柿木地区産業団地

- 工場等の敷地周囲に積極的にボリューム感のあるみどりを創出するとともに大切に維持管理し、地区内や隣接する市街地に溶け込んだ、やすらぎや親しみを感じる工業地の景観づくりを進めていきます。
- 河川の近くに位置する場所や歴史・文化・伝統の景観ゾーンにつながる場所では、豊かな自然環境や、歴史や風格の感じられる松並木、綾瀬川との調和にも配慮します。
- 草加柿木地区産業団地では、周辺の田園との調和に配慮しながら、みどりを中心とした工業地の景観づくりを積極的に進めていきます。



草加駅西口



谷塚駅東口駅前通り



幹線道路沿いのみどり（市立病院前）



国道4号の沿道（長栄1丁目）



工場・倉庫の敷地際に設けられた
植栽地（弁天3丁目）

(4) 歴史・文化・伝統の景観ゾーンにおける基本方針

①ゾーンの範囲と景観の現況

宿場町の面影や歴史的な趣のある建築物が残され、草加市の代表的な景観資源である松並木のあ
るゾーン及びかつての草加市の原風景を感じさせるような屋敷林等が残されているゾーン

市中央部の、かつては宿場町としてにぎわい、歴史的な趣のある草加宿や草加市のシンボルである草加松原や綾瀬川の周辺では、旧道や松並木沿いに高層の集合住宅が建設され、まちのまとまりが失われてきています。また、かつて盛んに行われていた地域のまつりや伝統行事なども少なくなり、地場産業であるせんべい店など古くからあった店も減少してきました。

市北部の柿木下妻街道跡周辺では、現在もなお、歴史的な趣を感じさせる建築物や屋敷林などが残されていますが、その数は徐々に減少しています。さらに、草加市の原風景を残していた田園風景も農地転用され、資材置き場等へと姿を変えています。

草加宿と草加松原では、かつて宿場のあったにぎわいを現代的に取り戻し、歴史と文化を活かした個性と活気あふれるシンボルゾーンとするため、旧道のまちなみ景観づくりや綾瀬川と草加松原を軸としたまちなみ景観づくりを進めています。

②景観づくりの基本方針

ゾーンの現況を改善し、また特徴を活かしながら、人々の生活に息づく歴史や文化、伝統を活かしたまちなみ景観づくりを進めていきます。

活かす (活用)	● 歴史、文化、伝統を感じさせる建築物等を保全するとともに、それらの形態意匠を現代の建築物のデザインに活かし、歴史的な趣のある景観を次世代に継承していきます。 ● まつばら綾瀬川公園や草加松原遊歩道における行政と市民の協働による花やみどりを植える活動を大切に、花とみどりあふれる景観を市民とともに維持管理していきます。
守る (保全)	● 松並木は、草加市を代表する貴重な景観資源として適切に維持管理を行い守っていきます。 ● 草加松原では、国指定名勝「おくのほそ道の風景地 草加松原」を中心とした良好な眺望景観を守っていくとともに、高層建築物の形態意匠に配慮することにより、名勝と調和した景観を誘導し、松並木と綾瀬川が織りなす歴史と風格を感じさせる景観を守っていきます。 ● 柿木下妻街道跡周辺に点在する屋敷林や大木、生垣などは、市民の努力により保たれています。市民の維持管理を支援していくことで郷土の景観を守っていきます。
創る (創造)	● 草加宿や草加松原は、旧道や綾瀬川、草加松原を軸として、みどりや河川などの自然環境や歴史、文化を活かしながら、個性と活気あふれる草加市のシンボルゾーンとしてふさわしい魅力的なまちなみ景観を創出していきます。

③区域別の景観づくりの方針

①草加宿

- 六丁目橋やおせん茶屋などの歴史を感じることで、できる建物に加え、町屋や蔵、地場産業であるせんべい店などの歴史的、文化的、伝統的な資源を活かしながら、旧道沿道におけるシンボリックなまちなみ景観づくりを進めていきます。
- 回遊性のある歩行空間を創出し、まちの楽しさにぎわいが実感できるまちなみ景観づくりを進めていきます。

②草加松原

- 草加松原遊歩道、百代橋や矢立橋、綾瀬川の舟運に使用されていた河岸場の雰囲気再現した札幌河岸公園など、江戸の名残を今に伝える景観資源を適切に維持していくとともに、これに面する建築物・工作物の形態意匠の配慮、松並木への眺望の配慮などにより、歴史や風格の感じられる、草加市のシンボルとなるまちなみ景観づくりを進めていきます。
- 松原団地停車場線通り沿いでは、秩序とにぎわいが感じられるまちなみ景観づくりを進めていきます。

③柿木下妻街道跡周辺

- 中川沿いに点在している史跡や旧集落の屋敷林を積極的に守り、それらを活かした歴史的な趣を感じさせる、落ち着いたまちなみ景観づくりを進めていきます。



おせん茶屋と周辺のまちなみ



草加松原遊歩道



札幌河岸公園



集落の屋敷林（柿木町）

(5) にぎわい交流エリアにおける基本方針

①エリアの範囲と景観の現況

草加駅周辺・獨協大学前<草加松原>駅周辺、文化核、獨協大学を含む一帯

このエリアは、草加市の中心商業地である草加駅周辺や獨協大学前<草加松原>駅周辺を含むとともに、草加市を代表する景観資源であり、観光資源でもある草加宿や草加松原を有しているほか、獨協大学という地域資源も立地しています。

これらの豊富な資源を個々のものではなくエリア一帯で捉え、各資源の連携した活用をめざしていくことが求められています。

②景観づくりの基本方針

景観資源は保全するだけでなく上手に活用することが大事であり、活気のあるまちの風景そのものも重要な景観です。このため、都市計画マスタープランで「にぎわい交流エリア」として位置付けた区域では、地域の公共空間からウォーカブルな人中心の空間へと転換し、人々が集い、憩い、多様な活動を繰り広げられる「居心地が良く歩きたくなるまちなか」をめざします。また、エリア一帯の各々の資源のもつ魅力を十分に引き出すため、各資源の連携した活用を進めることで、にぎわいのある景観づくりの創出を図っていきます。

- ・リノベーションの推進による新たなコンテンツの創出や文化推進地区での文化活動、多世代交流推進モデル地区での多世代交流と併せて、松並木沿いや旧道沿いにおける重点的な景観づくり、獨協大学との交流、お祭りやイベントなどのにぎわいを連携させることにより、人々の往来に回遊性をもたせ、エリア一帯での文化・にぎわいの交流の推進に取り組みます。
- ・獨協大学と市内の観光関連団体との連携を促進し、協力して新たなにぎわいの創出を図ります。
- ・草加せんべいなどの地場産業や、国の名勝に指定された「おくのほそ道の風景地 草加松原」、各種のお祭りやイベントなどの多くの魅力的な観光資源を活用し、情報発信することによって価値を高めながら、「暮らしたい・訪れたいまち」を創出し、にぎわいのある景観づくりに取り組みます。



宿場まつり



綾瀬川における和舟の乗船体験



春のこどもフェスタ

2 地区別の景観づくりの目標と方針

地区（コミュニティブロック）ごとに、景観づくりの目標と方針を定めます。

■地区区分図



凡例	 身近な生活景観ゾーン	 道路 事業中 計画
	 水とみどりの景観ゾーン	 鉄道・駅
	 商業・工業のある景観ゾーン	 コミュニティブロック
	 歴史・文化・伝統の景観ゾーン	

■項目の構成

地区名と地区を構成する町丁目を示しています。

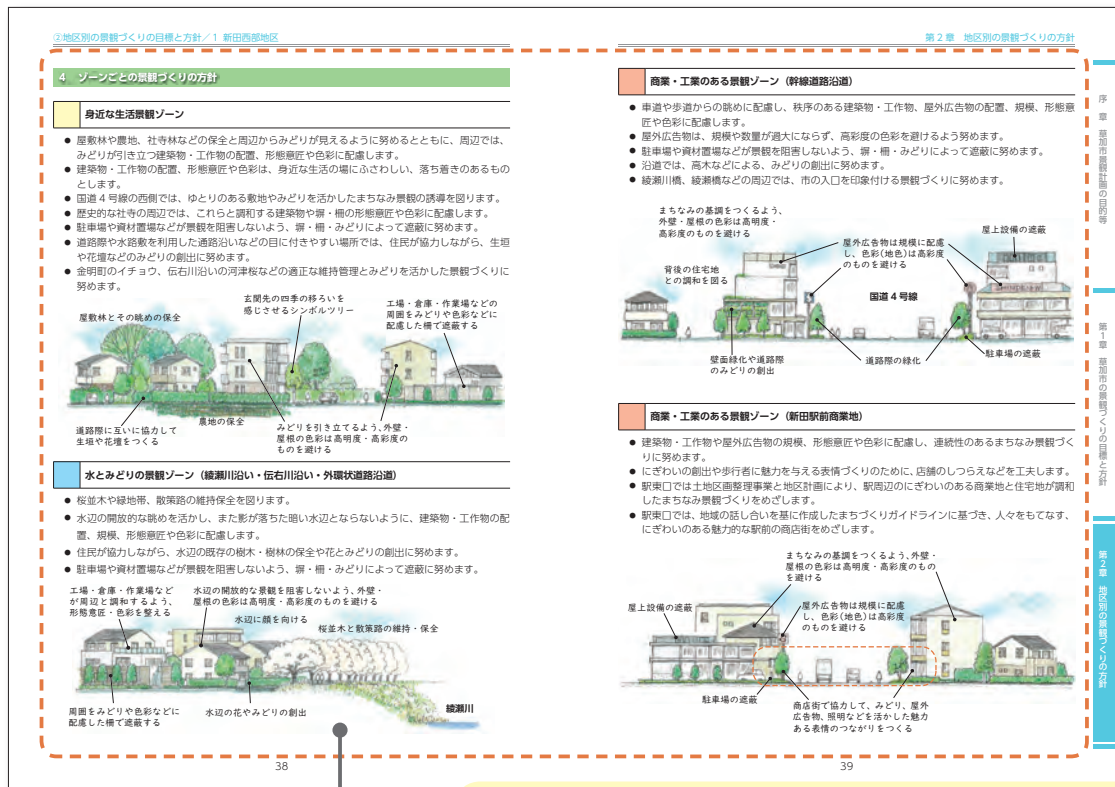
地区の景観の現況と特性を整理しています。

景観づくりの目標を実現するための市民・事業者・市が配慮すべき地区の景観づくりの方針をゾーンごとに示しています。



平成29年度に実施した市民アンケートの結果に基づく市民の意識と、地区で行われている主な市民活動について整理しています。

地区がめざす景観づくりの目標を示しています。



景観づくりの方針を踏まえ、各ゾーンにおいて、市民・事業者・市が配慮すべき事項とそのイメージを示しています。

1 新田西部地区

■対象町名

新栄 1～4 丁目、長栄 1～4 丁目、清門 1～3 丁目
金明町、新善町、旭町 1～6 丁目

1 地区の景観の現況

- ・市の北西部に位置する地区で、北は越谷市、西は川口市に接しています。
- ・新田駅の東西口では、土地区画整理事業が進んでおり、新たなまちなみ景観の形成が図られつつあります。
- ・土地区画整理事業が施行された国道 4 号線の西側は、整然としたまちなみ景観が形成されており、閑静な住宅地のほか公園や農のある風景があり、安らぎが感じられます。
- ・その他のエリアは戸建住宅を中心として、身近な商業施設や小規模な工場・倉庫・作業場などが混在しています。
- ・一部には、目立つ色彩の住宅やコンテナ類と資材が露出した資材置場などが見られます。
- ・主な幹線道路として、国道 4 号線及び足立越谷線が南北に、外環状道路及び金明町鳩ヶ谷線、草加北通線が東西に通過しています。沿道には郊外型の商業施設などが立地しており、一部には、規模が大きく、また高彩度の色彩の屋外広告物が見られ、秩序のない景観となっています。
- ・地区の外周を綾瀬川と伝右川が流れています。特に綾瀬川沿いの桜並木や菜の花は貴重な景観資源であり、多くの人が散策しています。



住宅地（長栄 3 丁目）



綾瀬川沿いの桜並木（金明町）



足立越谷線沿道（金明町）

2 市民の意識や活動

市民の意識（「景観に関するアンケート調査結果」（平成29年度）から）

- ・地区の景観に誇りや愛着をもっている人が比較的多い。
- ・道路沿いの景観や歴史的な景観、自然景観の保全・創出に対する意識が高い。
- ・建物の高さ・大きさ・配置などのルールが必要と感じている人が多い。
- ・おすすめの景観としては、綾瀬川や伝右川沿いの桜並木などが多く挙げられている。

主な市民活動

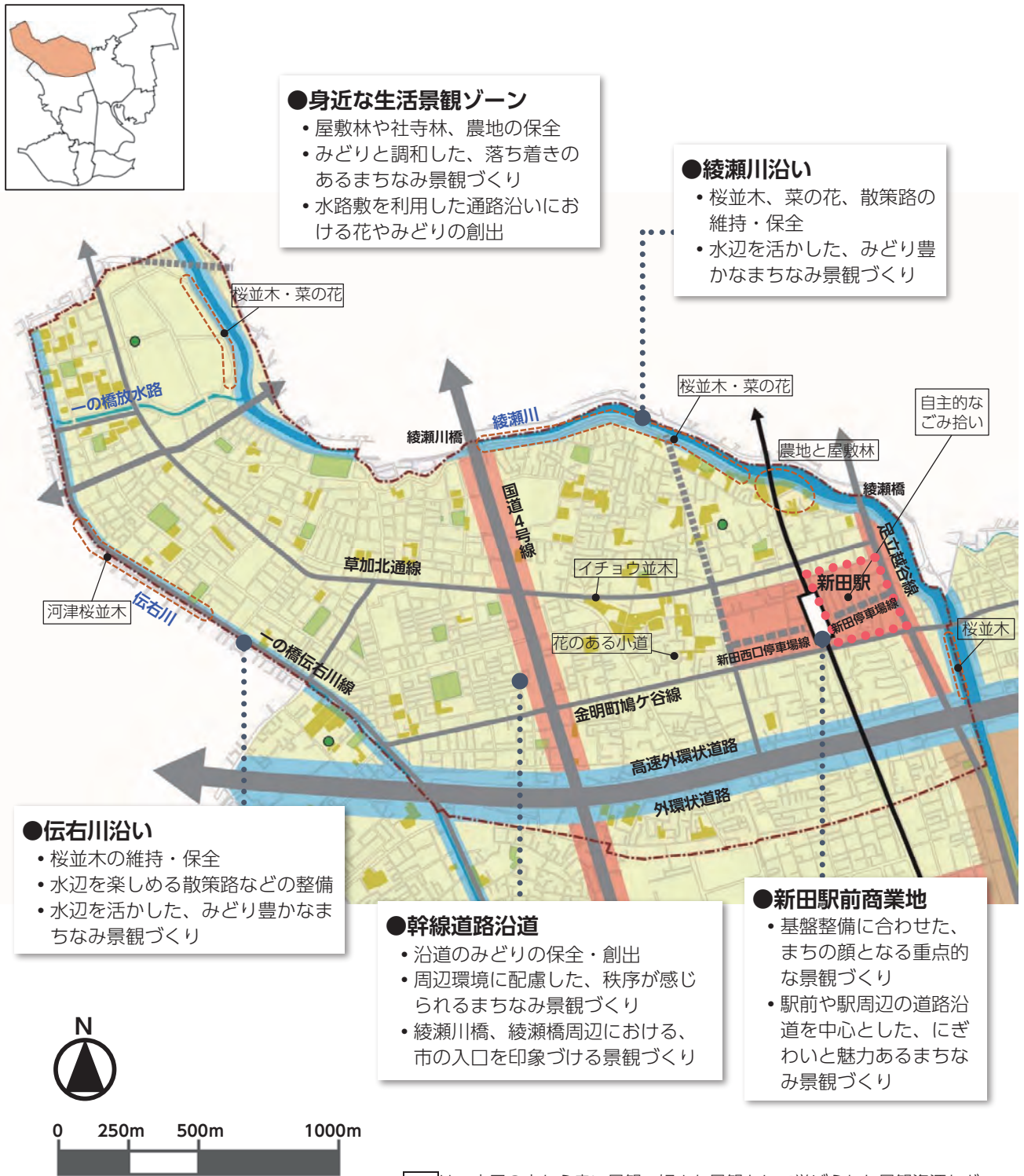
- ・町会・自治会による清掃
- ・町会・自治会による外環状道路側道などの美化活動
- ・金明町ふれあい小路の緑化や綾瀬川土手の手入れ

3 景観づくりの目標

市の北の顔となる、住宅と商業施設が調和したまちなみ景観づくり

新たに整備される新田駅周辺の魅力ある景観づくりとともに、綾瀬川、伝右川の水辺と屋敷林・農地のみどりを活かした、うるおいのあるまちなみ景観づくりをめざします。

■景観づくり方針図

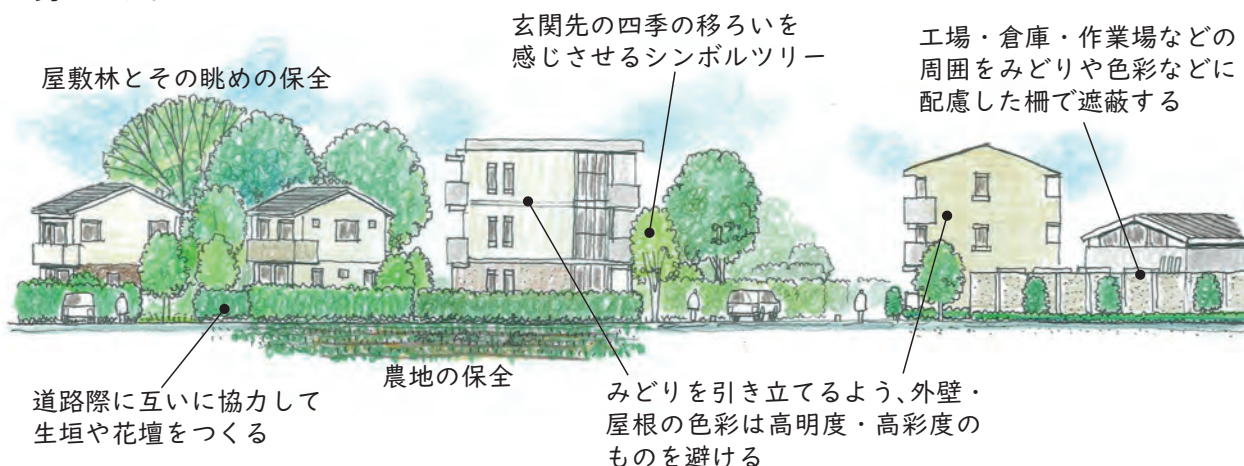


凡例	身近な生活景観ゾーン	景観重点地区	道路 事業中計画
	水とみどりの景観ゾーン	主な公園・緑地	鉄道・駅
	商業・工業のある景観ゾーン	生産緑地	コミュニティブロック
	歴史・文化・伝統の景観ゾーン	保存樹林	

4 ゾーンごとの景観づくりの方針

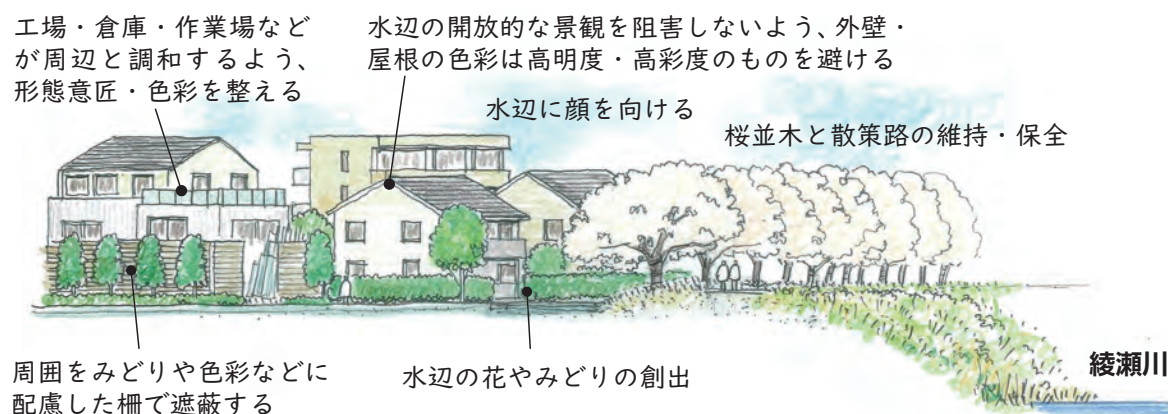
身近な生活景観ゾーン

- 屋敷林や農地、社寺林などの保全と周辺からみどりが見えるように努めるとともに、周辺では、みどりが引き立つ建築物・工作物の配置、形態意匠や色彩に配慮します。
- 建築物・工作物の配置、形態意匠や色彩は、身近な生活の場にふさわしい、落ち着いたものとする。
- 国道4号線の西側では、ゆとりのある敷地やみどりを活かしたまちなみ景観の誘導を図ります。
- 歴史的な社寺の周辺では、これらと調和する建築物や塀・柵の形態意匠や色彩に配慮します。
- 駐車場や資材置場などが景観を阻害しないよう、塀・柵・みどりによって遮蔽に努めます。
- 道路際や水路敷を利用した通路沿いなどの目に付きやすい場所では、住民が協力しながら、生垣や花壇などのみどりの創出に努めます。
- 金明町のイチョウ、伝右川沿いの河津桜などの適正な維持管理とみどりを活かした景観づくりに努めます。



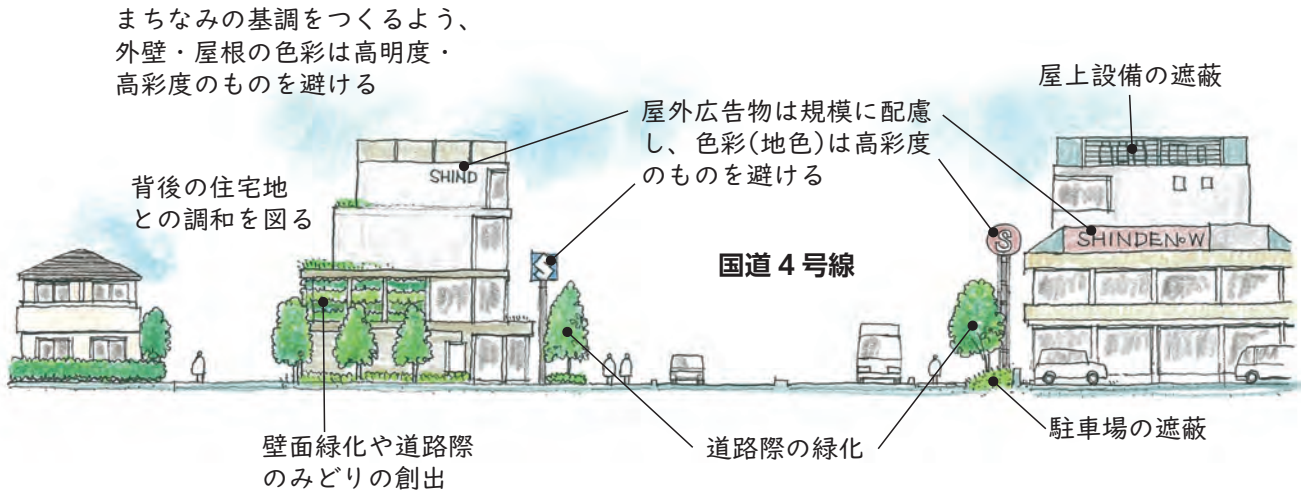
水とみどりの景観ゾーン（綾瀬川沿い・伝右川沿い・外環状道路沿道）

- 桜並木や緑地帯、散策路の維持保全を図ります。
- 水辺の開放的な眺めを活かし、また影が落ちた暗い水辺とならないように、建築物・工作物の配置、規模、形態意匠や色彩に配慮します。
- 住民が協力しながら、水辺の既存の樹木・樹林の保全や花とみどりの創出に努めます。
- 駐車場や資材置場などが景観を阻害しないよう、塀・柵・みどりによって遮蔽に努めます。



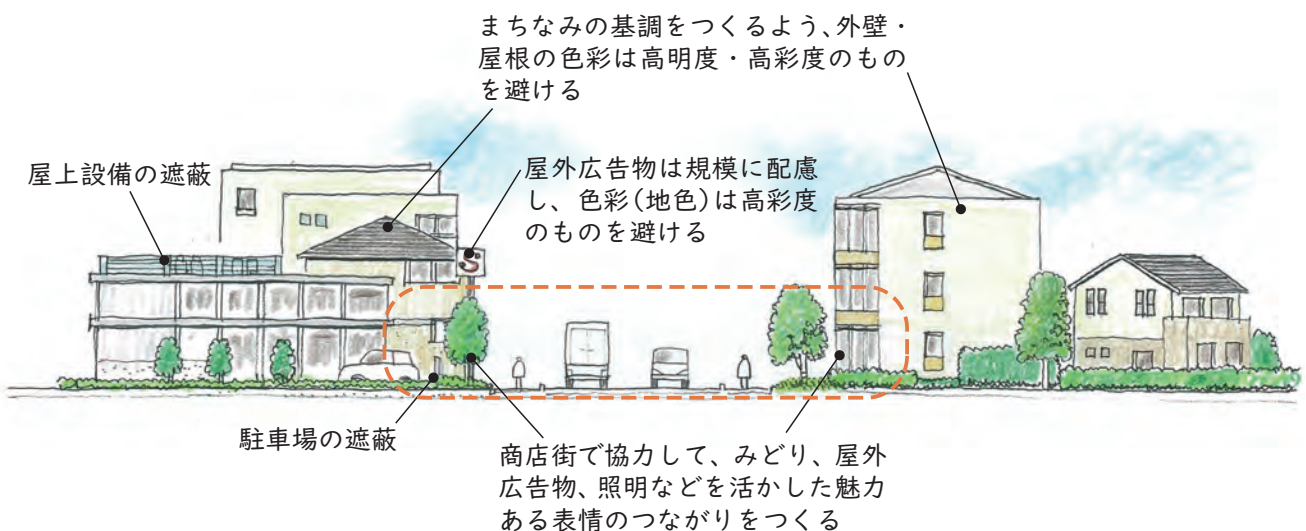
商業・工業のある景観ゾーン（幹線道路沿道）

- 車道や歩道からの眺めに配慮し、秩序のある建築物・工作物、屋外広告物の配置、規模、形態意匠や色彩に配慮します。
- 屋外広告物は、規模や数量が過大にならず、高彩度の色彩を避けるよう努めます。
- 駐車場や資材置場などが景観を阻害しないよう、塀・柵・みどりによって遮蔽に努めます。
- 沿道では、高木などによる、みどりの創出に努めます。
- 綾瀬川橋、綾瀬橋などの周辺では、市の入口を印象付ける景観づくりに努めます。



商業・工業のある景観ゾーン（新田駅前商業地）

- 建築物・工作物や屋外広告物の規模、形態意匠や色彩に配慮し、連続性のあるまちなみ景観づくりに努めます。
- にぎわいの創出や歩行者に魅力を与える表情づくりのために、店舗のしつらえなどを工夫します。
- 駅東口では土地区画整理事業と地区計画により、駅周辺のにぎわいのある商業地と住宅地が調和したまちなみ景観づくりをめざします。
- 駅東口では、地域の話し合いを基に作成したまちづくりガイドラインに基づき、人々をもてなす、にぎわいのある魅力的な駅前の商店街をめざします。



2 新田東部地区

■対象町名

栄町 1～3 丁目、松江 1～4 丁目、中根 1～3 丁目
弁天 1～6 丁目、八幡町

1 地区の景観の現況

- ・市の北部に位置する地区で、北は越谷市に接しています。
- ・獨協大学前〈草加松原〉駅周辺には商業施設やマンションなどの集合住宅が立地しており、にぎわいのあるまちなみの景観を生み出しています。
- ・重要な景観資源である国指定名勝の草加松原（草加松原遊歩道）が綾瀬川沿いに連なるほか、まつばら綾瀬川公園や草加市文化会館などもあり、市のシンボルとなる景観が見られます。
- ・その他のエリアは、戸建住宅を中心としながら、身近な商業施設や小規模な工場・倉庫・作業場などが混在するまちなみ景観が形成されています。
- ・一部には、目立つ色彩の住宅や、コンテナ類と資材が露出した資材置場などが見られます。
- ・主な幹線道路として、足立越谷線、八潮越谷線が南北に、外環状道路、浦和流山線が東西に通過しています。沿道には商業施設などが立地しており、全体的に秩序のない景観となっています。
- ・外環状道路の北側は、農地と住宅が混在したまちなみ景観が形成されています。
- ・地区の南側には工業団地が立地しており、工業系施設が集積した景観が形成されています。一部の施設にはみどりが創出され、圧迫感の軽減を図っています。
- ・地区の西側に綾瀬川、東側に古綾瀬川が流れているほか、谷古田用水沿いには桜並木の散策路が整備されており、地区の景観にうるおいを与えています。



獨協大学前〈草加松原〉駅東口



草加松原と綾瀬川



谷古田用水沿い（中根 2 丁目）

2 市民の意識や活動

市民の意識（「景観に関するアンケート調査結果」（平成29年度）から）

- ・地区の景観に誇りや愛着をもっている人が多い。
- ・河川や農地などの景観保全に対する意識が高い。
- ・地域の景観づくりの取り組みへの参加意欲が高い。
- ・屋外広告物の制限が必要と感じている人が多い。
- ・おすすめの景観としては、綾瀬川沿いの桜並木や草加松原、まつばら綾瀬川公園などが多く挙げられている。

主な市民活動

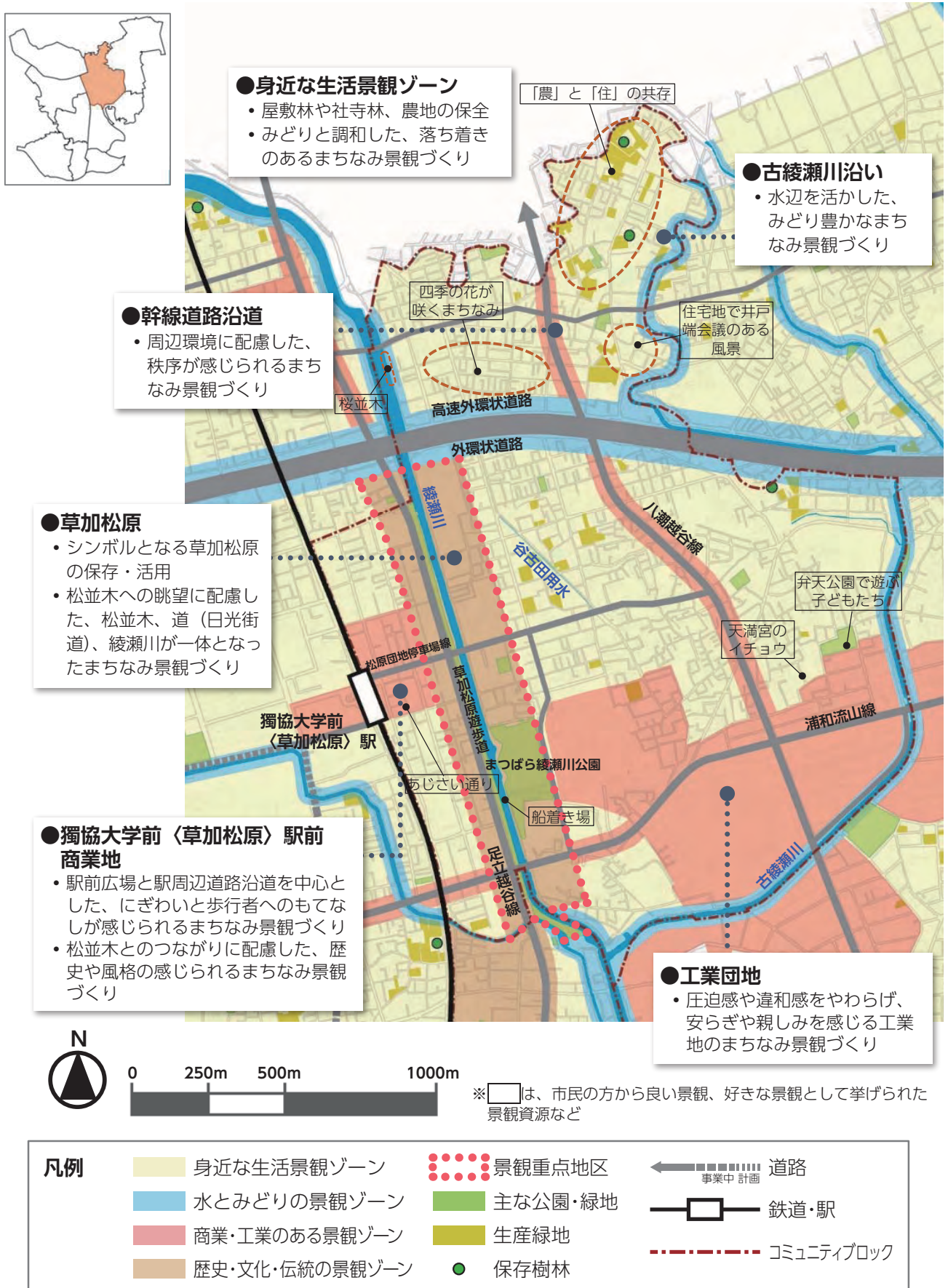
- ・町会・自治会による下校時のパトロールを兼ねたごみ拾い
- ・町会・自治会による花壇の手入れ
- ・商店街による季節の花の鉢植え

3 景観づくりの目標

草加松原の魅力の活用と、住宅と商業・工業施設が調和したまちなみ景観づくり

草加松原の魅力を活かした景観づくりとともに、獨協大学前〈草加松原〉駅東口のにぎわいのある景観の創出、古綾瀬川などの水辺と屋敷林・農地のみどりを活かしたうるおいのある住宅地の景観づくり、工業団地の景観の向上をめざします。

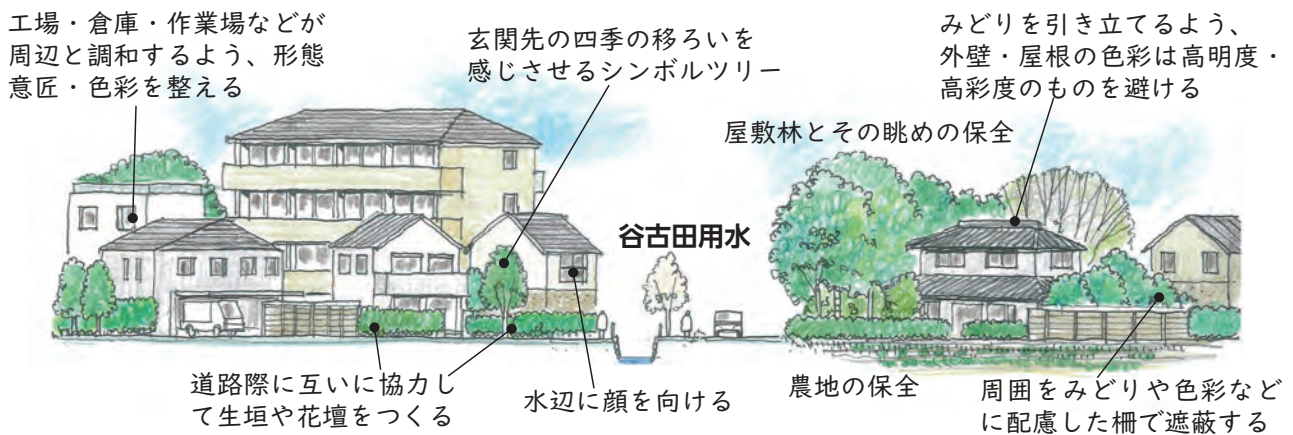
■景観づくり方針図



4 ゾーンごとの景観づくりの方針

身近な生活景観ゾーン

- 屋敷林や農地、社寺林などの保全に努めるとともに、周辺では、みどりが引き立つ建築物・工作物の配置、形態意匠や色彩に配慮します。
- 建築物・工作物の配置、形態意匠や色彩は、身近な生活の場にふさわしい、落ち着いたものとしします。
- 歴史的な社寺の周辺では、これらと調和する建築物や塀・柵の形態意匠や色彩に配慮します。
- 駐車場や資材置場などが景観を阻害しないよう、塀・柵・みどりによって遮蔽に努めます。
- 道路際やあじさい通りなどの水路敷を利用した通路沿いなどの目に付きやすい場所では、住民が協力しながら、生垣や花壇などのみどりの創出に努めます。



歴史・文化・伝統の景観ゾーン

- 桜並木・松並木や緑地帯、散策路の維持保全を図ります。
- 水辺の開放的な眺めを阻害しないように、建築物・工作物の規模、形態意匠や色彩に配慮します。
- 住民が協力しながら、水辺の既存の樹木・樹林の保全や花とみどりの創出に努めます。
- 市のシンボルとなる松並木が草加松原遊歩道やまつばら綾瀬川公園とともに雄壮な景観をつくり出しており、こうした自然景観と調和した、にぎわいのあるまちなみ景観をめざします。
- 建築等の際は松並木への眺めや松並木との調和に最大限配慮し、良好な景観を保全します。
- 草加松原と調和したまちなみ景観づくりのため、建築物・工作物等の修景をめざします。



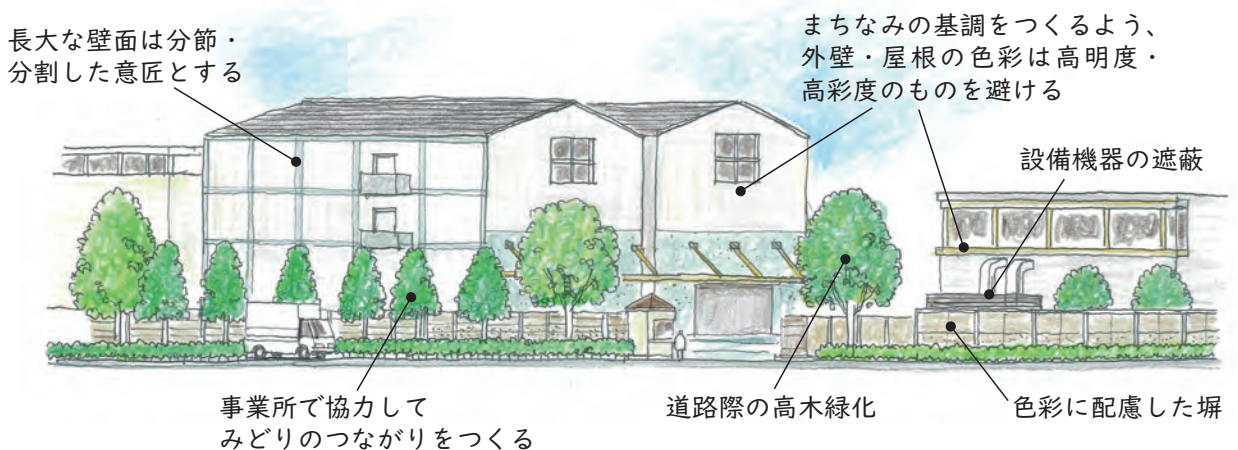
商業・工業のある景観ゾーン（獨協大学前〈草加松原〉駅前商業地・幹線道路沿道）

- 松原団地停車場線をはじめとして、幹線道路沿道の建築物・工作物や屋外広告物の規模、形態意匠や色彩に配慮し、連続性のあるまちなみ景観づくりに努めます。
- にぎわいの創出や歩行者に魅力を与える表情づくりのために、低層部の壁面の後退や店舗のしつらえなどを工夫します。
- 道路際やあじさい通りなどの水路敷を利用した通路沿いなどの目に付きやすい場所では、壁面緑化、プランターなどの多様なみどりの創出に努めます。
- 駅前の商店街などでは、互いに協力しながら、にぎわいのある表情づくりを工夫します。



商業・工業のある景観ゾーン（工業団地）

- 圧迫感や違和感を与えないよう、建築物・工作物の配置、規模、形態意匠や色彩に配慮します。
- 長大な壁面が生じる場合は、分節・分割するなど、壁面の意匠に配慮します。
- 屋外広告物は、施設の名称にとどめるなど、必要最小限の規模や数量とし、高彩度の色彩を避けるよう努めます。
- 設備機器、駐車場や資材置場などが景観を阻害しないよう、塀・柵・みどりによって遮蔽に努めます。
- 敷地際では、高木などによる、みどりの創出に努めます。



3 草加川柳地区

■対象町名

青柳 1 ～ 8 丁目、青柳町、柿木町

1 地区の景観の現況

- ・市の北東部に位置する地区で、北は越谷市、東は吉川市、八潮市に接しています。
- ・地区の北側は市内唯一の市街化調整区域となっており、田園景観が広がっています。また、東埼玉道路を挟んだ地区には、みどりを積極的に活かした草加柿木地区産業団地の整備が行われています。
- ・中川沿いは集落を中心とした安らぎが感じられる景観となっていますが、一部には小規模な工場・倉庫・作業場などが混在したまちなみ景観が形成されています。
- ・その他のエリアは、戸建住宅を中心としたまちなみ景観となっているほか、南側には工業団地があり、工場・倉庫が集積した景観となっています。
- ・一部には、目立つ色彩の住宅や、コンテナ類と資材が露出した資材置場などが見られます。
- ・主な幹線道路として、東埼玉道路及び県道平方東京線が南北に、外環状道路、浦和流山線及び蒲生・柿木川戸線が東西に通過しています。
- ・地区には中川のほか、八条用水、葛西用水、古綾瀬川が流れており、一部には屋敷林・社寺林を伴ったみどりの景観が形成されています。特に葛西用水は親水性に富んでおり、桜並木と一体となった重要な景観資源となっています。
- ・市内で最大のそうか公園は、水とみどりの景観資源となっています。周囲には田園風景が広がっていますが、一部に資材置場や駐車場などが混在した景観となっています。



市街化調整区域の田園（柿木町）



葛西用水沿いの住宅地（青柳 8 丁目）



葛西用水の桜並木（青柳 1 丁目）

2 市民の意識や活動

市民の意識（「景観に関するアンケート調査結果」（平成29年度）から）

- ・景観づくりに関して厳しいルールで規制すべきとの意見が比較的多い。
- ・地区の景観づくりのために、電線類の地中化や屋外広告物の設置場所の規制が必要との意見が多い。
- ・おすすめの景観としては、そうか公園などの自然景観が多く挙げられている。

主な市民活動

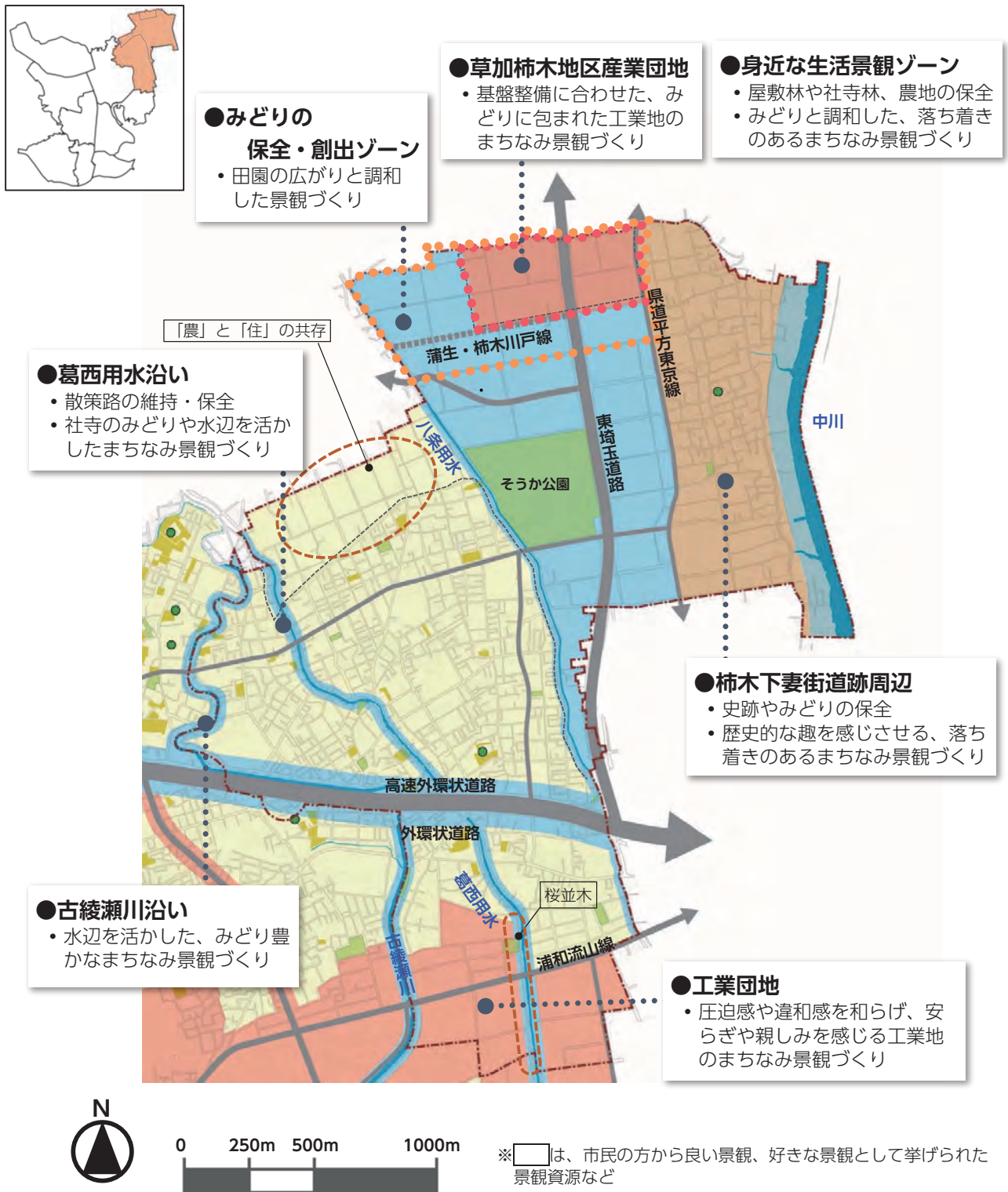
- ・町会・自治会によるごみ清掃
- ・町会・自治会による下校時のパトロールを兼ねたごみ拾い
- ・葛西用水の清掃活動

3 景観づくりの目標

田園・集落景観と住宅、工業施設が調和したまちなみ景観づくり

市の北部に広がる田園景観や中川周辺の集落の景観、八条用水、葛西用水、古綾瀬川などの水辺とみどりを活かし、住宅地と幹線道路沿道の商業施設、工業団地の景観の向上をめざします。

■景観づくり方針図



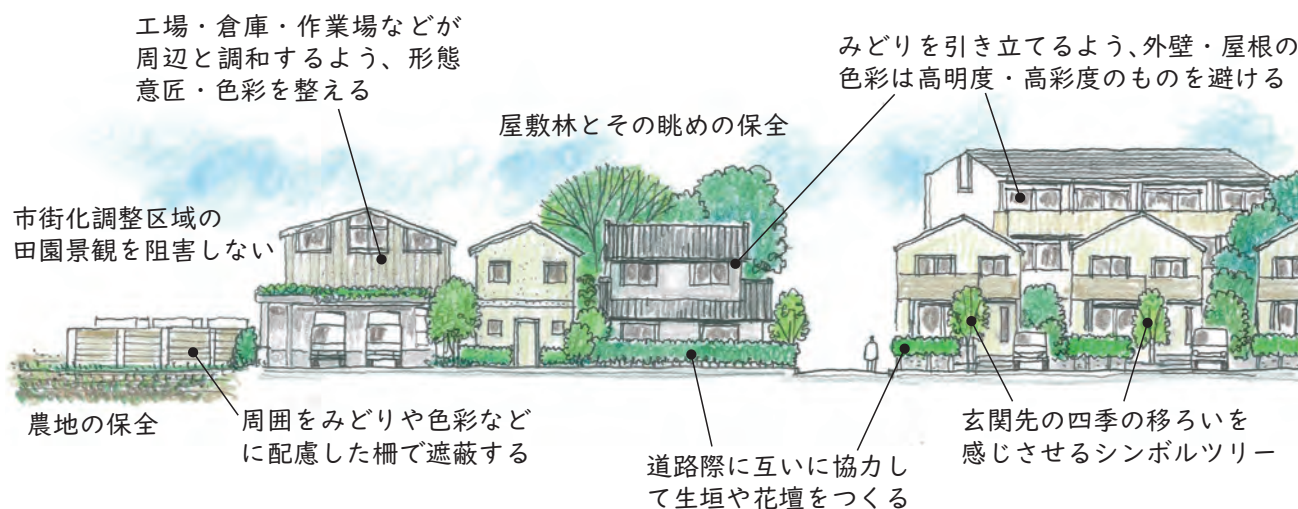
凡例

	身近な生活景観ゾーン		景観重点地区		保存樹林
	水とみどりの景観ゾーン		みどりの保全・創出ゾーン		道路
	商業・工業のある景観ゾーン		主な公園・緑地		鉄道・駅
	歴史・文化・伝統の景観ゾーン		生産緑地		コミュニティブロック

4 ゾーンごとの景観づくりの方針

身近な生活景観ゾーン

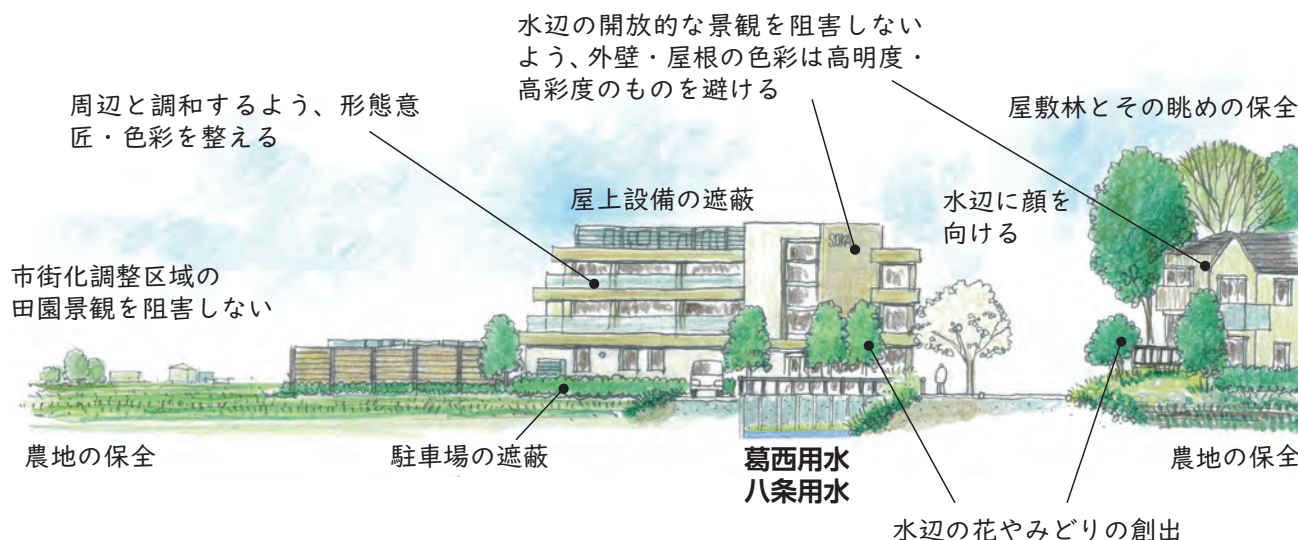
- 屋敷林や農地、社寺林などの保全に努めるとともに、周辺では、みどりが引き立つ配置、形態意匠や色彩に配慮します。
- 建築物・工作物の配置、形態意匠や色彩は、身近な生活の場にふさわしい、落ち着いたものとしします。
- 歴史的な社寺の周辺では、これらと調和する建築物や塀・柵の形態意匠や色彩に配慮します。
- 駐車場や資材置場などが景観を阻害しないよう、塀・柵・みどりによって遮蔽に努めます。
- 道路際や水路敷を利用した通路沿いなどの目に付きやすい場所では、住民が協力しながら、生垣や花壇などのみどりの創出に努めます。



水とみどりの景観ゾーン

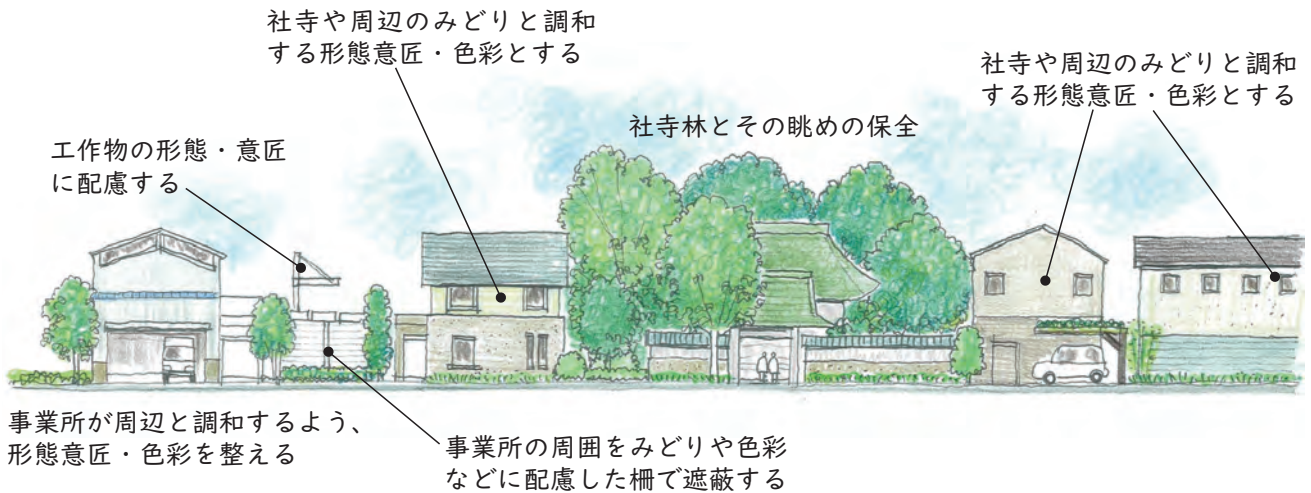
(そうか公園周辺・八条用水沿い・葛西用水沿い・古綾瀬川沿い・中川沿い堤外・外環状道路沿道)

- 桜並木や緑地帯、散策路の維持保全を図ります。
- 水辺の開放的な眺めを阻害しないように、建築物・工作物の規模、形態意匠や色彩に配慮します。
- 草加柿木地区産業団地周辺の豊かな自然環境や田園風景を保全します。
- 住民が協力しながら、水辺の既存の樹木・樹林の保全や花とみどりの創出に努めます。
- 駐車場や資材置場などが景観を阻害しないよう、塀・柵・みどりによって遮蔽に努めます。



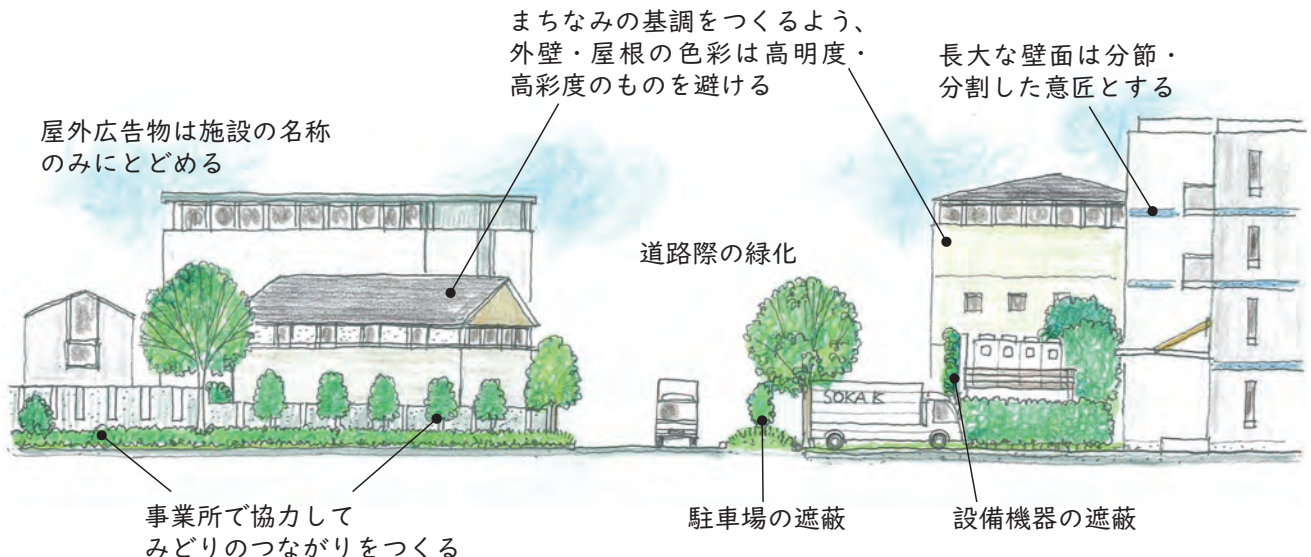
歴史・文化・伝統の景観ゾーン（柿木下妻街道跡周辺）

- 歴史的な社寺の周辺では、これらと調和する建築物や塀・柵の形態意匠や色彩に配慮します。
- 車道や歩道からの眺めに配慮し、秩序のある建築物・工作物、屋外広告物の配置、規模、形態意匠や色彩に配慮します。
- 屋外広告物は、規模や数量が過大にならず、高彩度の色彩を避けるよう努めます。
- 駐車場や資材置場などが景観を阻害しないよう、塀・柵・みどりによって遮蔽に努めます。
- 沿道では、高木などによる、みどりの創出に努めます。



商業・工業のある景観ゾーン（工業団地・草加柿木地区産業団地・幹線道路沿道）

- 圧迫感や違和感を与えないよう、建築物・工作物の配置、規模、形態意匠や色彩に配慮します。
- 屋外広告物は、施設の名称にとどめるなど、必要最小限の規模や数量とし、高彩度の色彩を避けるよう努めます。また、草加柿木地区産業団地では、広告物の大きさやデザインの統一をめざします。
- 草加柿木地区産業団地では周辺の田園景観との調和に配慮し、自然環境と調和する緑化やオープンスペース創出によって、みどりに包まれた景観づくりを進めます。
- 設備機器、駐車場や資材置場などが景観を阻害しないよう、塀・柵・みどりによって遮蔽に努めます。敷地際では、高木などによる、みどりの創出に努めます。



4 草加安行地区

■対象町名

松原 1～5 丁目、学園町、花栗 1～4 丁目、苗塚町
北谷 1～3 丁目、北谷町、小山 1～2 丁目、原町 1～3 丁目

1 地区の景観の現況

- ・市の西部に位置する地区で、西は川口市に接しています。
- ・獨協大学前〈草加松原〉駅周辺には商業施設や建て替えられた集合住宅が立地し、大規模で整然とした新たなまちなみの景観が形成されています。
- ・その他のエリアは、戸建住宅を中心としながら、身近な商業施設や小規模な工場・倉庫・作業場などが混在するまちなみ景観が形成されています。
- ・一部には、目立つ色彩の住宅や、コンテナ類と資材が露出した資材置場などが見られます。
- ・国道 4 号線の西側は、比較的多いみどりが多く、ゆとりを感じる景観となっています。
- ・主な幹線道路として、国道 4 号線が南北に、外環状道路及び浦和流山線が東西に通過しています。沿道には郊外型の商業施設等が立地しており、一部には、規模が大きく、また高彩度の色彩の屋外広告物が見られ、秩序のない景観となっています。
- ・地区の中心には伝右川が流れており、川沿いの桜並木や獨協大学付近に整備された水辺のテラスは重要な景観資源となっています。
- ・屋敷林や農地などのみどりが点在し、地区の景観にうるおいを与えているほか、社寺など歴史を感じさせる景観資源が見られます。



建て替えられた住宅地
(松原 2 丁目)



獨協大学付近の伝右川沿いの
親水空間



店舗や工場などが混在したまちなみ
(北谷 2 丁目)

2 市民の意識や活動

市民の意識（「景観に関するアンケート調査結果」（平成29年度）から）

- ・地区の景観に誇りや愛着をもっている人が比較的多い。
- ・草加松原などの歴史的景観の保全に対する意識が最も高い。
- ・建物の緑化が必要と感じている人が最も多い。
- ・おすすめの景観としては、伝右川沿いの桜並木や獨協大学前〈草加松原〉駅前などが多く挙げられている。

主な市民活動

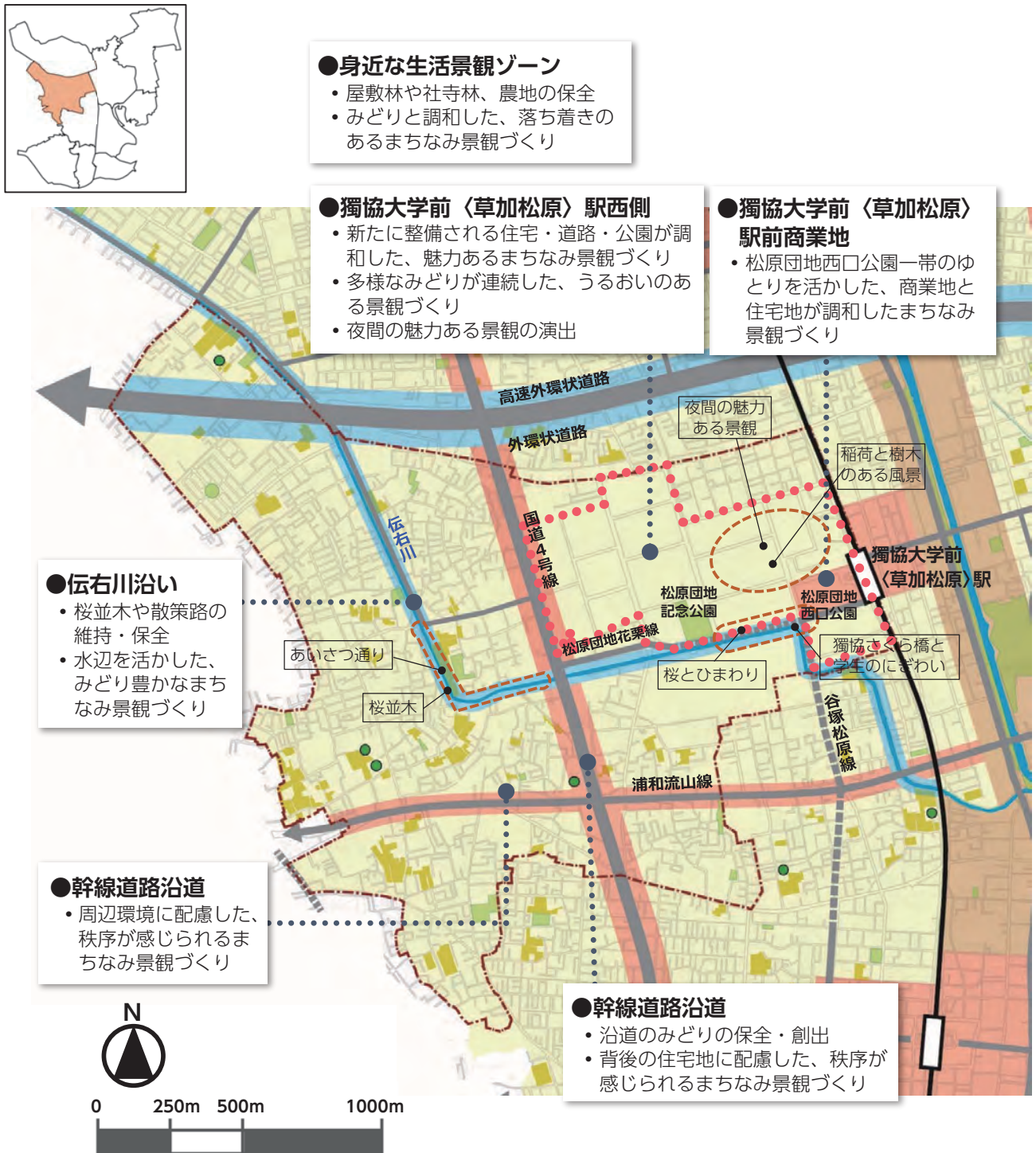
- ・獨協大学前の伝右川沿いの花の手入れ
- ・松原団地西口公園での花壇づくり
- ・町会・自治会による道路などの雑草むしり

3 景観づくりの目標

新たな魅力のある景観づくりと、住宅と商業・工業施設が調和したまちなみ景観づくり

獨協大学前〈草加松原〉駅西口周辺の商業施設、大学、新たな住宅地を中心とした魅力ある景観づくりとともに、伝右川の水辺と屋敷林・農地のみどりを活かした、住宅地と商業・工業施設が調和したまちなみ景観づくりをめざします。

■景観づくり方針図



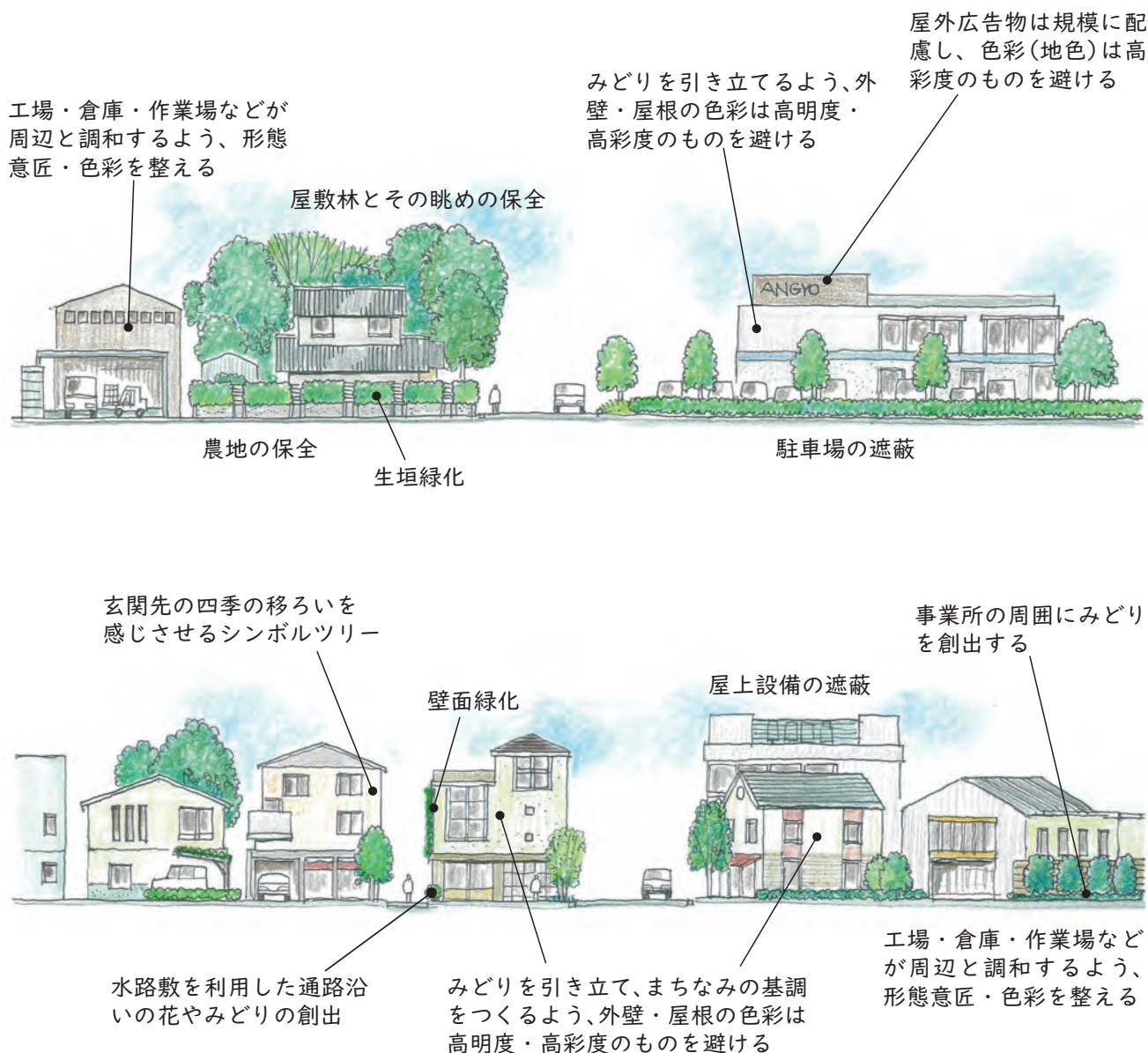
※□は、「市民の方から良い景観、好きな景観として挙げられた景観資源など」

凡例	身近な生活景観ゾーン	景観重点地区	道路
	水とみどりの景観ゾーン	主な公園・緑地	事業中計画
	商業・工業のある景観ゾーン	生産緑地	鉄道・駅
	歴史・文化・伝統の景観ゾーン	保存樹林	コミュニティブロック

4 ゾーンごとの景観づくりの方針

身近な生活景観ゾーン

- 建築物・工作物の配置、形態意匠や色彩は、身近な生活の場にふさわしい、落ち着いたものとする。
- 国道4号線の西側では、ゆとりのある敷地やみどりを活かしたまちなみ景観の誘導を図ります。
- 獨協大学前<草加松原>駅西側地区では、地区計画を活用し、建築物の配置や色彩などの誘導、地区の骨格となる道路や公園、緑道、公共公益施設等の整備により、ゆとりがあり魅力あるまちなみ景観をつくり出していきます。
- 獨協大学前<草加松原>駅西側地区では、児童センターや近隣型商業施設などの整備を通して、多世代が交流するにぎわいのある景観をつくり出していきます。
- 駐車場や資材置場などが景観を阻害しないよう、塀・柵・みどりによって遮蔽に努めます。
- 道路際や水路敷を利用した通路沿いの目に付きやすい場所では、住民が協力しながら、生垣や花壇などのみどりの創出に努めます。



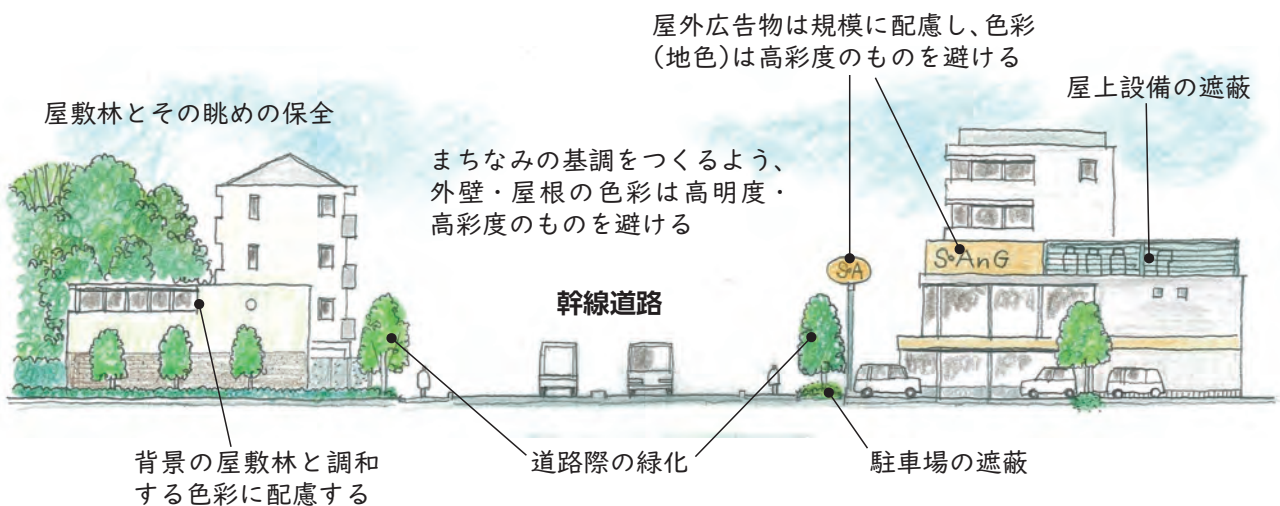
水とみどりの景観ゾーン（伝右川沿い・外環状道路沿道）

- 桜並木や緑地帯、散策路の維持保全を図ります。
- 水辺の開放的な眺めを阻害しないように、建築物・工作物の規模、形態意匠や色彩に配慮します。
- 水辺の開放的な眺めを活かし、また影が落ちた暗い水辺とならないように、建築物・工作物の配置、規模、形態意匠や色彩に配慮します。
- 住民が協力しながら、水辺の既存の樹木・樹林の保全や花とみどりの創出に努めます。
- 伝右川・松原団地記念公園・緑のプロムナードなどを活かし、水辺空間とみどり、オープンスペースが連続した、歩いて楽しく、うるおいのある景観づくりを進めます。



商業・工業のある景観ゾーン（幹線道路沿道・獨協大学前〈草加松原〉駅前商業地）

- 車道や歩道からの眺めに配慮し、秩序のある建築物・工作物、屋外広告物の配置、規模、形態意匠や色彩に配慮します。
- 屋外広告物は、規模や数量が過大にならず、高彩度の色彩を避けるよう努めます。
- 駅前の商店街などでは、互いに協力しながら、にぎわいのある表情づくりを工夫します。
- 駐車場や資材置場などが景観を阻害しないよう、塀・柵・みどりによって遮蔽に努めます。
- 沿道では、高木などによる、みどりの創出に努めます。



5 草加西部地区

■対象町名

草加 1～5 丁目、西町、氷川町

1 地区の景観の現況

- ・市の中央の西部に位置する地区で、西は川口市に接しています。
- ・草加駅周辺には商業施設やマンションなどの集合住宅が立地しており、にぎわいのあるまちなみ景観を生み出していますが、一部では統一感に欠け、表情に乏しい状況も見られます。氷川町などには、直売所や市民農園のある農地や屋敷林も点在しています。
- ・その他のエリアは、戸建住宅を中心としながら、身近な商業施設や小規模な工場・倉庫・作業場などが混在するまちなみ景観が形成されています。
- ・一部には、目立つ色彩の住宅や、コンテナ類と資材が露出した資材置場などが見られます。
- ・国道 4 号線の西側は、比較的多く、ゆとりを感じる景観となっています。
- ・主な幹線道路として、国道 4 号線が南北に、浦和流山線が東西に通過しています。沿道には郊外型の商業施設などが立地しており、一部には、規模が大きく、また高彩度の色彩の屋外広告物が見られ、秩序のない景観となっています。
- ・地区の北部には伝右川が流れているほか、南部に柳島治水緑地が水とみどりの景観拠点となっています。
- ・市立病院前面の桜並木、屋敷林や農地などのみどりが点在し、地区の景観にうるおいを与えているほか、歴史を感じさせる景観資源が見られます。



住宅地（西町）



伝右川沿い（草加 5 丁目）



草加西口停車場線沿道

2 市民の意識や活動

市民の意識（「景観に関するアンケート調査結果」（平成29年度）から）

- ・住宅の敷地の緑化に対する意識が最も高い。
- ・みどりや歴史・文化資源の保全活動が必要と感じている人が多い。
- ・地域の景観づくりの取り組みへの参加意欲が高い。
- ・おすすめの景観としては、公園や広場などで人々が活動している風景などが多く挙げられている。

主な市民活動

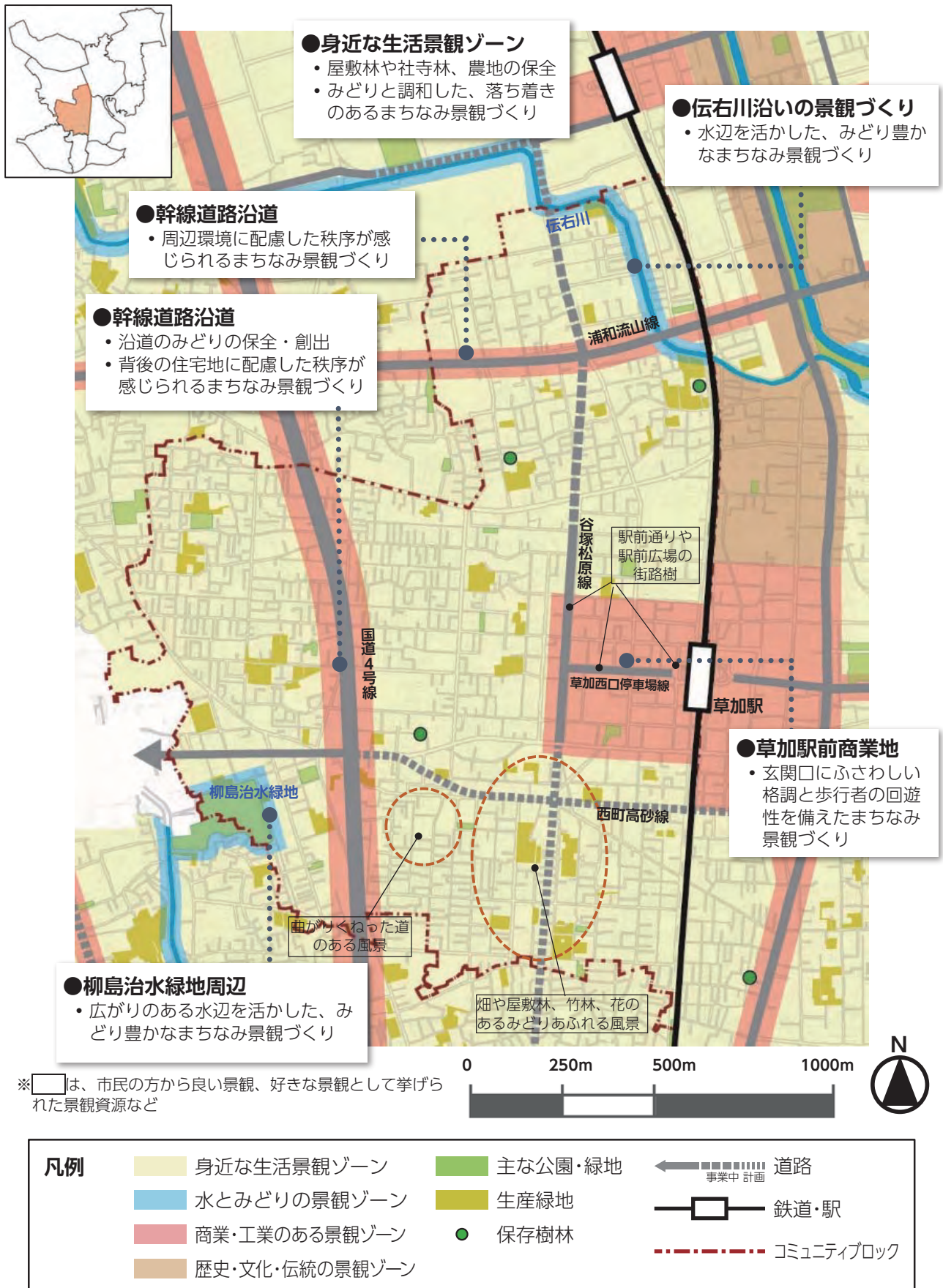
- ・町会・自治会によるパトロールを兼ねたごみ拾い
- ・町会・自治会による美化活動
- ・ボランティアによる駅前などの花壇の手入れ

3 景観づくりの目標

住宅と商業施設が調和した、魅力あるまちなみ景観づくり

伝右川の水辺と屋敷林・社寺林・農地などのみどりを活かし、うるおいのある住宅地の景観づくりとともに、駅前や幹線道路沿道の商業施設、工業施設が調和したまちなみ景観づくりをめざします。

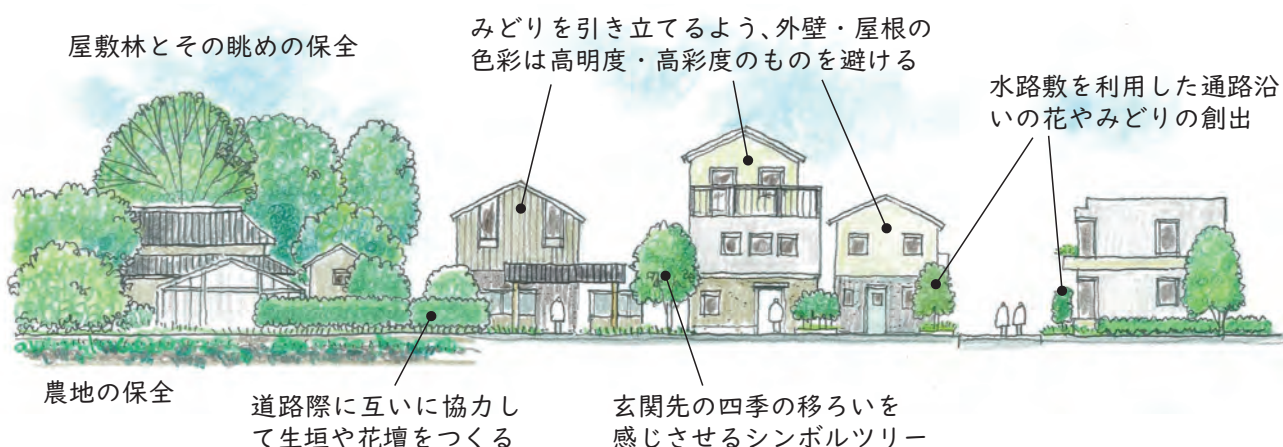
■景観づくり方針図



4 ゾーンごとの景観づくりの方針

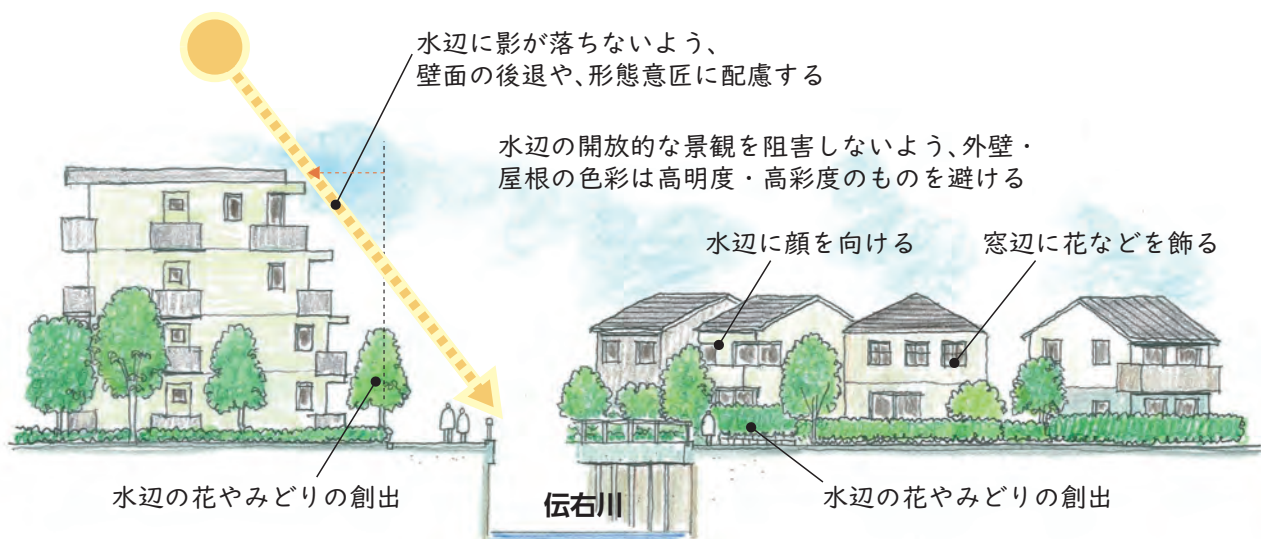
身近な生活景観ゾーン

- 屋敷林や農地、社寺林などの保全に努めるとともに、周辺では、みどりが引き立つ配置、形態意匠や色彩に配慮します。
- 建築物・工作物の配置、形態意匠や色彩は、身近な生活の場にふさわしい、落ち着いたものとしします。
- 国道4号線の西側では、ゆとりのある敷地やみどりを活かしたまちなみ景観の誘導を図ります。
- 歴史的な社寺の周辺では、これらと調和する建築物や塀・柵の形態意匠や色彩に配慮します。
- 駐車場や資材置場などが景観を阻害しないよう、塀・柵・みどりによって遮蔽に努めます。
- 道路際や水路敷を利用した通路沿いなどの目に付きやすい場所では、住民が協力しながら、生垣や花壇などのみどりの創出に努めます。



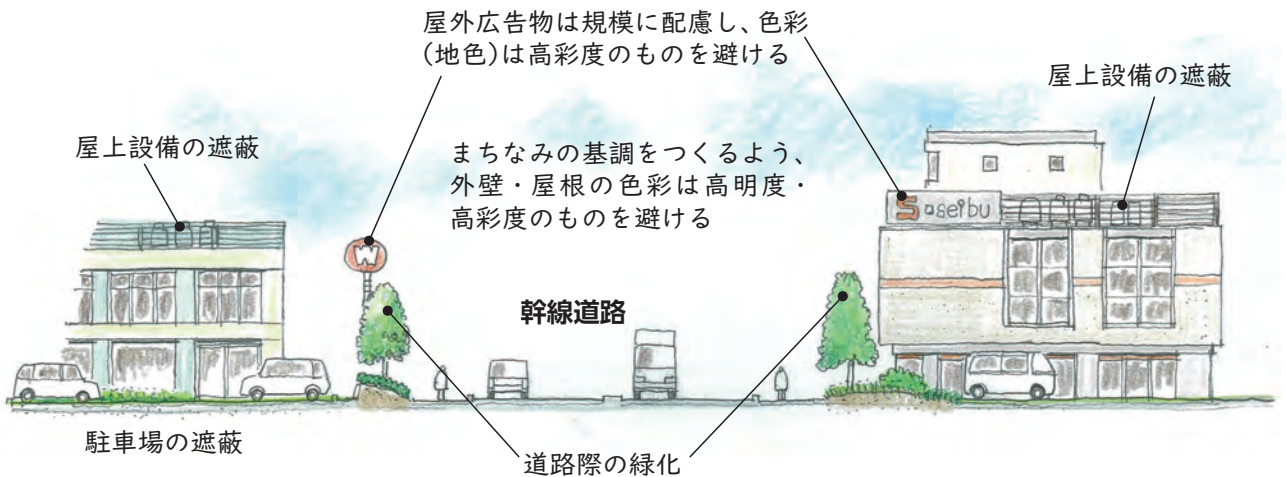
水とみどりの景観ゾーン（伝右川沿い・柳島治水緑地周辺）

- 水辺の開放的な眺めを阻害しないように、建築物・工作物の規模、形態意匠や色彩に配慮します。
- 水辺の開放的な眺めを活かし、また影が落ちた暗い水辺とならないように、建築物・工作物の配置、規模、形態意匠や色彩に配慮します。
- 住民が協力しながら、水辺の既存の樹木・樹林の保全や花とみどりの創出に努めます。
- 駐車場や資材置場などが景観を阻害しないよう、塀・柵・みどりによって遮蔽に努めます。



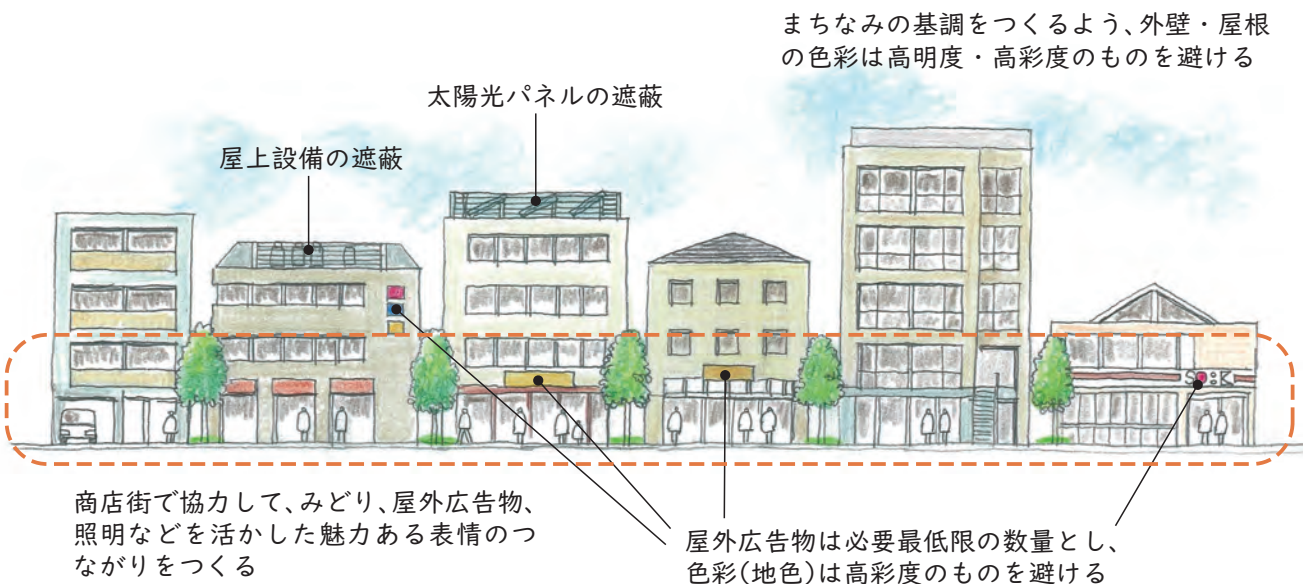
商業・工業のある景観ゾーン（幹線道路沿道）

- 車道や歩道からの眺めに配慮し、秩序のある建築物・工作物、屋外広告物の配置、規模、形態意匠や色彩に配慮します。
- 屋外広告物は、規模や数量が過大にならず、高彩度の色彩を避けるよう努めます。
- 駐車場や資材置場などが景観を阻害しないよう、塀・柵・みどりによって遮蔽に努めます。
- 沿道では、高木などによる、みどりの創出に努めます。



商業・工業のある景観ゾーン（草加駅前商業地）

- 草加西口停車場線沿道を中心として、建築物等や屋外広告物の規模、形態意匠や色彩に配慮し、連続性のあるまちなみ景観づくりに努めます。
- にぎわいの創出や歩行者に魅力を与える表情づくりのために、低層部の壁面の後退や店舗のしつらえなどを工夫します。
- 歴史的な社寺周辺では、調和する建築物や塀・柵の形態意匠や色彩に配慮します。
- 道路際では、壁面緑化、プランターなどの多様なみどりの創出に努めます。
- 駅前の商店街などでは、互いに協力しながら、にぎわいのある表情づくりを工夫します。
- 街路樹の適正な維持管理とみどりを活かした景観づくりに努めます。



6 草加東部地区

■対象町名

高砂 1～2 丁目、住吉 1～2 丁目、神明 1～2 丁目
中央 1～2 丁目、吉町 1～5 丁目、手代 1～3 丁目

1 地区の景観の現況

- ・市中央部の東側に位置する地区で、東は八潮市に接しています。
- ・草加駅東口には市内最大の商業施設が集積しており、市役所などの行政機関も立地しています。
- ・旧日光街道沿いには、古い建築物や社寺なども残っており、かつての草加宿の面影や、歴史・文化・伝統を感じさせる、草加市でも大切にすべきまちなみ景観が形成されています。また、まちの資源を活用したリノベーションまちづくりが進んでいます。
- ・その他のエリアは、戸建住宅を中心としながら、マンションなどの集合住宅、小規模な工場・倉庫・作業場などが混在するまちなみ景観が形成されているほか、農地も残されています。
- ・一部には、目立つ色彩の住宅や、コンテナ類と資材が露出した資材置場などが見られます。
- ・主な幹線道路として、足立越谷線が南北に、草加彦成線及び草加三郷線が東西に通過しています。沿道にはマンションや郊外型の商業施設等が立地しており、一部には、規模が大きく、また高彩度の色彩の屋外広告物が見られ、秩序のない景観となっています。
- ・地区の東側には伝右川と綾瀬川が流れており、地区の景観にうるおいを与えています。



草加駅東口の商業地



伝右川沿い（手代 1 丁目）



綾瀬川沿いの桜並木（手代 1 丁目）

2 市民の意識や活動

市民の意識（「景観に関するアンケート調査結果」（平成29年度）から）

- ・地区の景観に誇りや愛着をもっている人が最も多い。
- ・草加松原や草加宿などの歴史的景観の保全に対する意識が高い。
- ・屋外広告物や建物に関する制限が必要と感じている人が多い。
- ・おすすめの景観としては、松並木や綾瀬川、草加駅東口のまちなみなどが多く挙げられている。

主な市民活動

- ・町会・自治会による美化活動
- ・町会・自治会による、とやま公園での清掃・花壇の手入れ
- ・町会・自治会によるプランターによる花の育成

3 景観づくりの目標

草加の歴史・文化・伝統が息づく、にぎわいのあるまちなみ景観づくり

草加市の中心として、草加宿の歴史と文化と伝統が今に息づき、新たな魅力にも富んだ、にぎわいのある景観づくりをめざします。

■景観づくり方針図



●草加宿

- ・歴史・文化・伝統的な資源を活かした、シンボルとなるまちなみ景観づくり
- ・リノベーションまちづくりの推進

●草加駅前商業地

- ・玄関口としてふさわしい格調と歩行者の回遊性を備えた、まちなみ景観づくり
- ・旧道沿いの歴史や文化、伝統を活かしたまちなみ景観づくり

●草加市庁舎と周辺

- ・シンボルとなる市役所本庁舎の整備
- ・新庁舎を地域のランドマークとして活かした、宿場町の雰囲気と生活の機能が調和したまちなみ景観の創出

●幹線道路沿道

- ・周辺環境や歩行者の回遊性に配慮した、魅力あるまちなみ景観づくり
- ・手代新橋周辺における、市の入口を印象付ける景観づくり

●身近な生活景観ゾーン

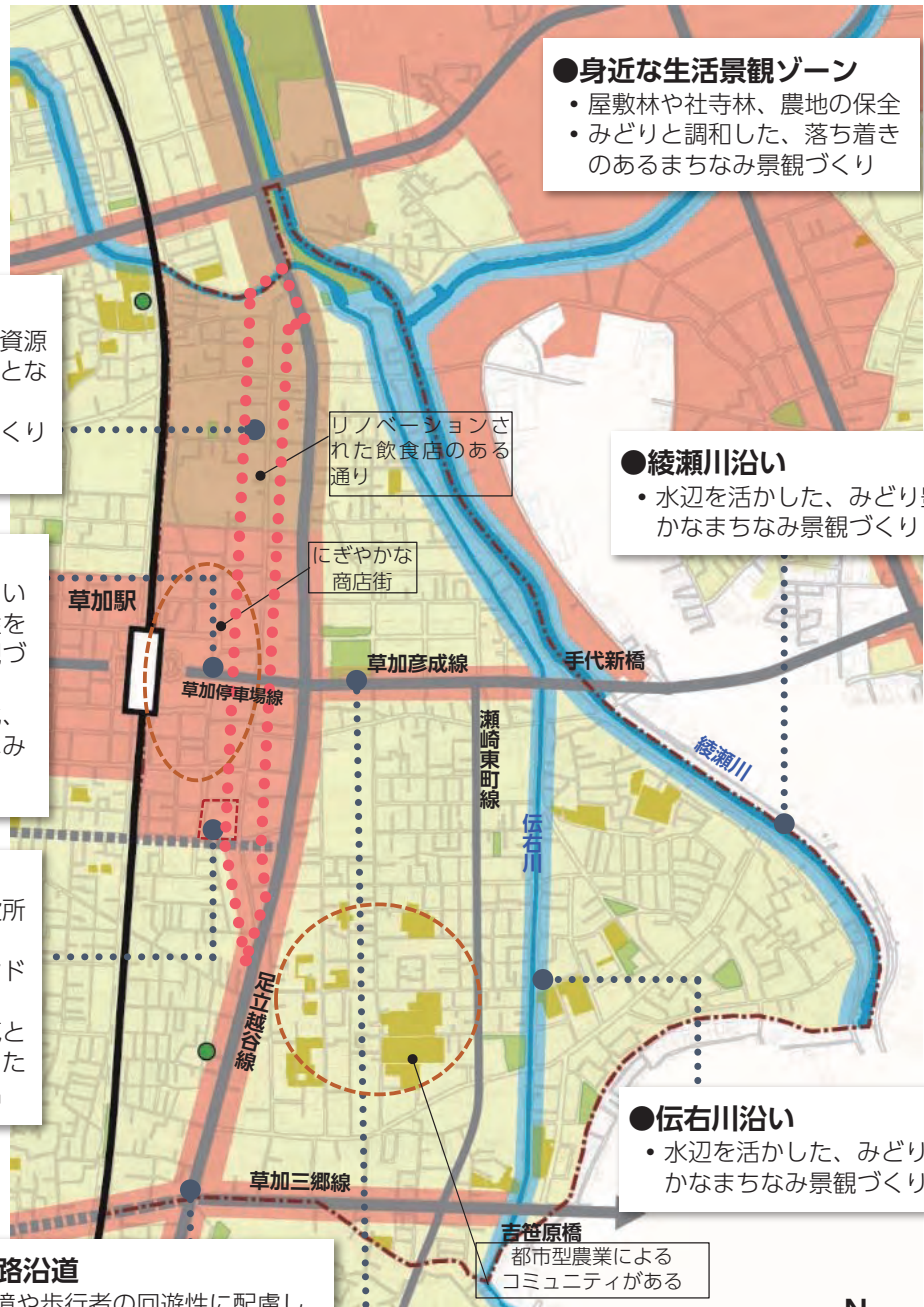
- ・屋敷林や社寺林、農地の保全
- ・みどりと調和した、落ち着いたまちなみ景観づくり

●綾瀬川沿い

- ・水辺を活かした、みどり豊かなまちなみ景観づくり

●伝右川沿い

- ・水辺を活かした、みどり豊かなまちなみ景観づくり



※は市民の方から良い景観、好きな景観として挙げられた景観資源など

凡例

- 身近な生活景観ゾーン
- 水とみどりの景観ゾーン
- 商業・工業のある景観ゾーン
- 歴史・文化・伝統の景観ゾーン

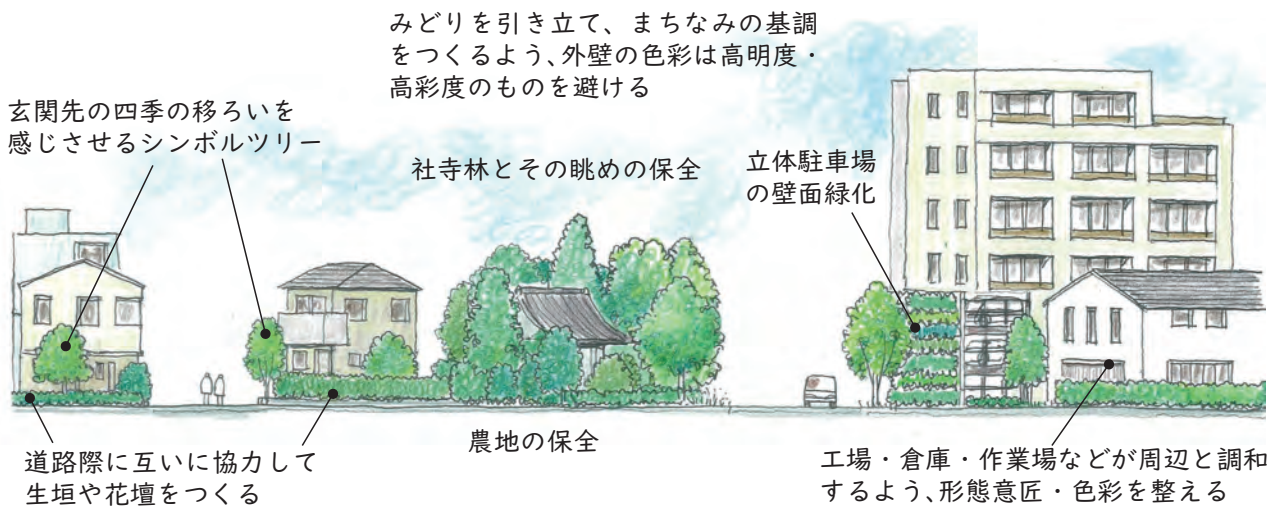
- 景観重点地区
- 主な公園・緑地
- 生産緑地
- 保存樹林

- 道路 (事業中計画)
- 鉄道・駅
- コミュニティブロック

4 ゾーンごとの景観づくりの方針

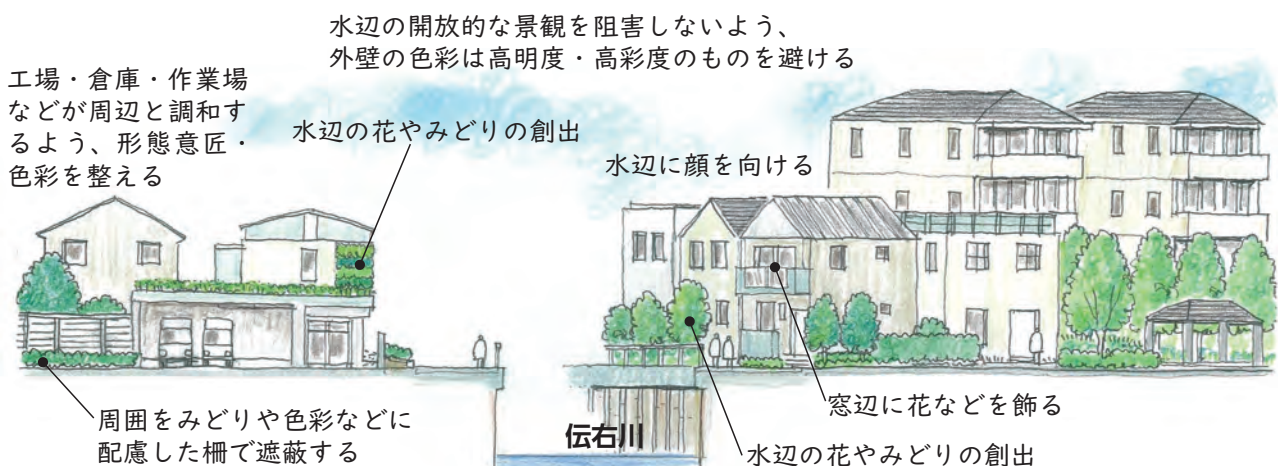
身近な生活景観ゾーン

- 屋敷林や農地、社寺林などの保全に努めるとともに、周辺では、みどりが引き立つ配置、形態意匠や色彩に配慮します。
- 建築物・工作物の配置、形態意匠や色彩は、身近な生活の場にふさわしい、落ち着いたものとしします。
- 歴史的な社寺の周辺では、これらと調和する建築物や塀・柵の形態意匠や色彩に配慮します。
- 駐車場や資材置場などが景観を阻害しないよう、塀・柵・みどりによって遮蔽に努めます。
- 道路際や水路敷を利用した通路沿いなどの目に付きやすい場所では、住民が協力しながら、生垣や花壇などのみどりの創出に努めます。



水とみどりの景観ゾーン（伝右川沿い・綾瀬川沿い）

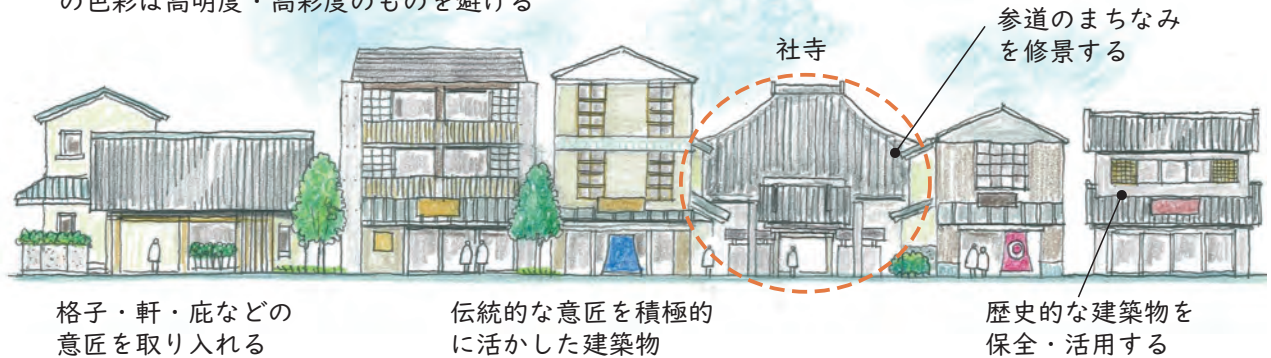
- 桜並木や散策路の維持保全を図ります。
- 水辺の開放的な眺めを阻害しないように、建築物・工作物の規模、形態意匠や色彩に配慮します。
- 水辺の開放的な眺めを活かし、また影が落ちた暗い水辺とならないように、建築物・工作物の配置、規模、形態意匠や色彩に配慮します。
- 住民が協力しながら、水辺の既存の樹木・樹林の保全や花とみどりの創出に努めます。
- 駐車場や資材置場などが景観を阻害しないよう、塀・柵・みどりによって遮蔽に努めます。



歴史・文化・伝統の景観ゾーン（草加宿）

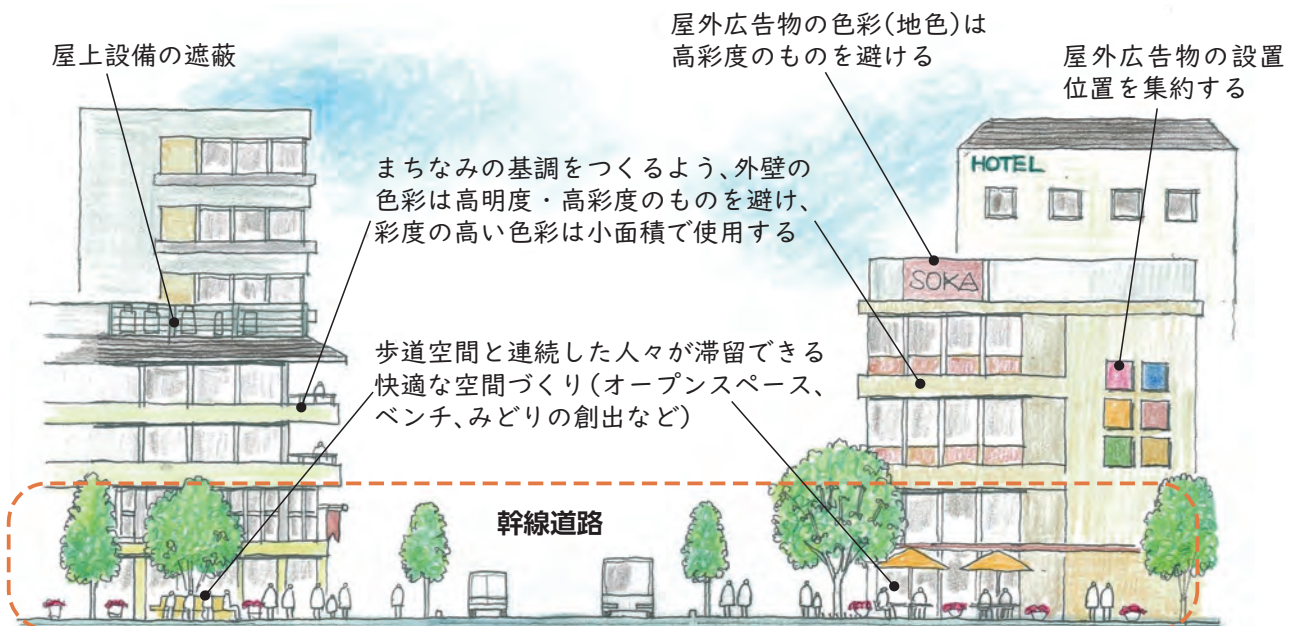
- 旧道沿いや社寺の周辺では、歴史的な建築物の保全を図るとともに、これらと調和する建築物や塀・柵の形態意匠や色彩に配慮します。
- にぎわいづくりと良好な景観づくりをめざし、リノベーションまちづくりを進めます。
- 屋外広告物は、規模や数量が過大にならず、高彩度の色彩を避けるよう努めます。
- 旧道沿いでは、草加宿の街道としての歴史・文化・伝統を活かし、歩いて楽しい、にぎわいのあるまちなみ景観づくりを進めます。

まちなみの基調をつくるよう、外壁・屋根の色彩は高明度・高彩度のものを避ける



商業・工業のある景観ゾーン（草加駅前商業地・幹線道路沿道）

- 草加停車場線沿道をはじめとして、幹線道路沿道の建築物・工作物や屋外広告物の規模、形態意匠や色彩に配慮し、連続性のあるまちなみ景観づくりに努めます。
- にぎわいの創出や歩行者に魅力を与える表情づくりのために、低層部の壁面の後退や店舗のしつらえなどを工夫します。
- シンボルとなる市庁舎の整備と、周辺エリアの一体的な景観づくりを進めます。
- 旧道の一部では、道路整備と地区の協定に基づき、和の趣を活かしたまちなみ景観の調和とにぎわいづくりを進めます。



商店街で協力して、低層部にみどり、屋外広告物、照明などを活かした魅力ある表情のつながりをつくる

7 草加稲荷地区

■対象町名

稲荷 1～6 丁目、松江 5～6 丁目

1 地区の景観の現況

- ・市の東部に位置する地区で、八潮市に接しています。
- ・地区の北側と西側のエリアは、大規模な工場・倉庫が集積する工業団地となっています。敷地内を緑化している施設も多く、みどりを生み出していますが、一部では大規模な壁面が連続し圧迫感を受ける場所もあります。
- ・その他のエリアは、戸建住宅を中心としながら、身近な商業施設や小規模な工場・倉庫・作業場などが混在しているほか、屋敷林や農地などのみどりが点在するまちなみ景観が形成されています。
- ・一部には、目立つ色彩の住宅や、コンテナ類と資材が露出した資材置場などが見られます。
- ・主な幹線道路として、八潮越谷線が中央部を南北に、草加彦成線が南部を東西に通過しています。沿道の一部の商業施設では、高彩度の色彩の建築物や屋外広告物、デジタルサイネージ（電子看板）などの目立つものも見られます。
- ・地区の北部・西部には、古綾瀬川と綾瀬川が流れています。東部には葛西用水が縦断し、水辺と桜並木が調和した特徴的な景観となっています。



住宅地（稲荷 2 丁目）



葛西用水（稲荷 5 丁目）



工業施設（稲荷 5 丁目）

2 市民の意識や活動

市民の意識（「景観に関するアンケート調査結果」（平成29年度）から）

- ・住宅地のまちなみの満足度が高く、最近10年間で改善したと感じる人が最も多い。
- ・他地区に比べ道路等や企業・工場等への緑化の意識が高い。
- ・建物の形やデザインの制限を必要と感じている人が多い。
- ・おすすめの景観としては、葛西用水の桜並木や葛西用水沿いのお祭りの風景などが多く挙げられている。

主な市民活動

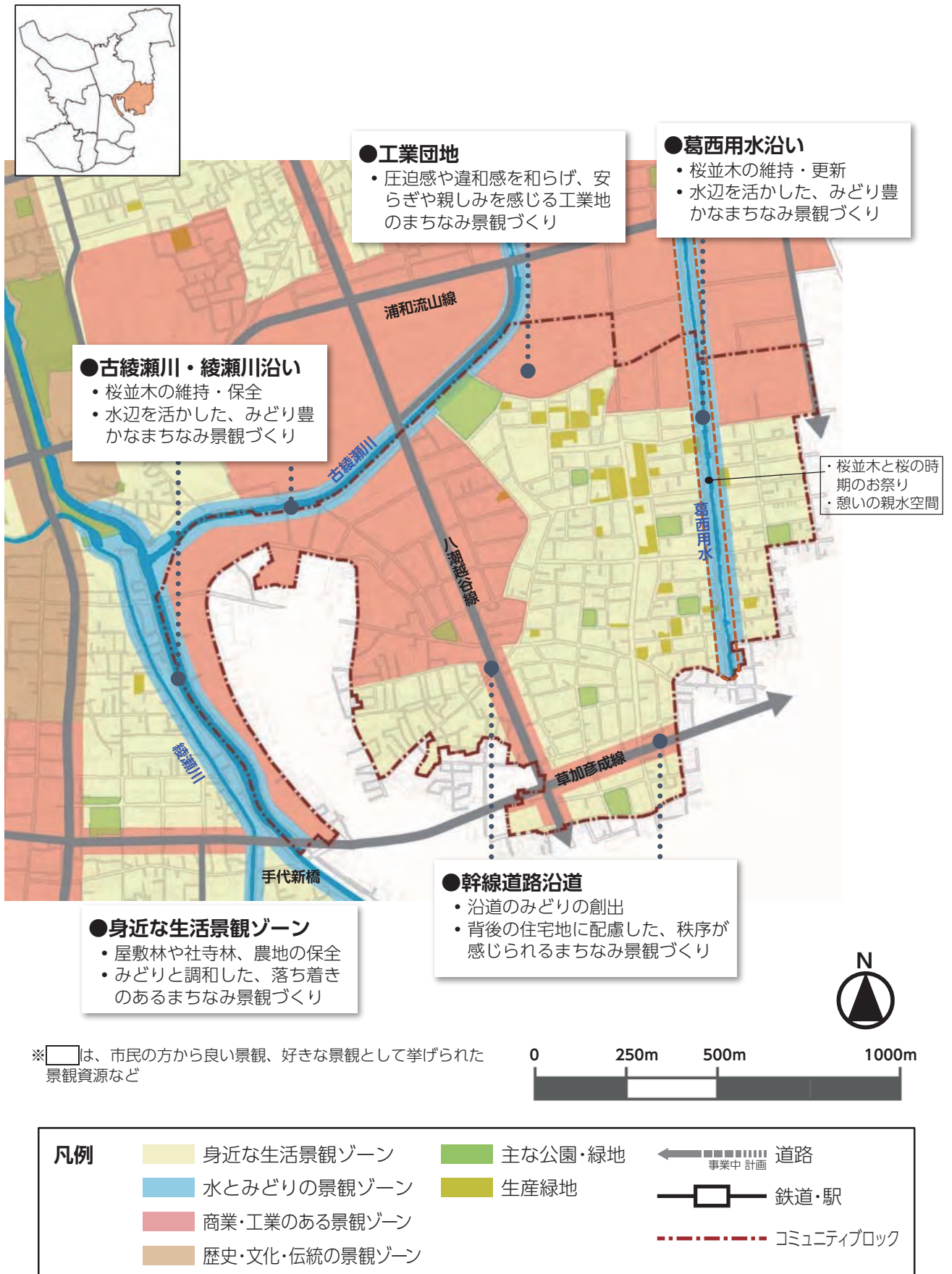
- ・ごみ置場の清掃
- ・町会・自治会による歩道の花の育成
- ・近隣工場の従業員による産業道路のごみ拾い

3 景観づくりの目標

住宅と工業施設が調和したまちなみ景観づくり

葛西用水、古綾瀬川の水辺、みどりを活かし、うるおいと落ち着きのある住宅地の景観づくりとともに、幹線道路沿道の商業施設、工業団地の景観の向上をめざします。

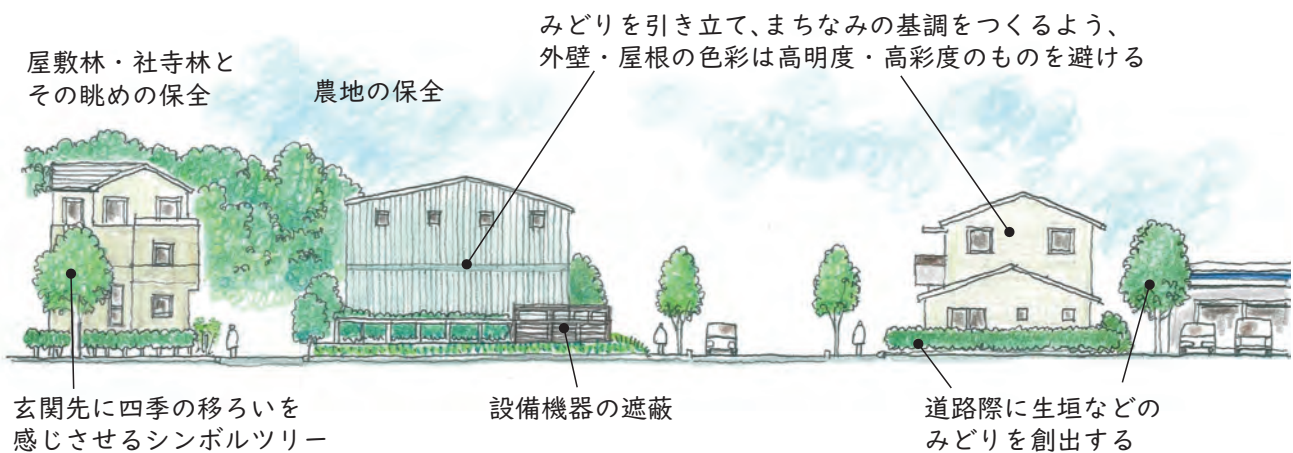
景観づくり方針図



4 ゾーンごとの景観づくりの方針

身近な生活景観ゾーン

- 屋敷林や農地、社寺林などの保全に努めるとともに、周辺では、みどりが引き立つ配置、形態意匠や色彩に配慮します。
- 建築物・工作物の配置、形態意匠や色彩は、身近な生活の場にふさわしい、落ち着いたものとする。
- ゆとりのある敷地やみどりを活かしたまちなみ景観の誘導を図ります。
- 歴史的な社寺の周辺では、これらと調和する建築物や塀・柵の形態意匠や色彩に配慮します。
- 駐車場や資材置場などが景観を阻害しないよう、塀・柵・みどりによって遮蔽に努めます。
- 道路際や水路敷を利用した通路沿いなどの目に付きやすい場所では、住民が協力しながら、生垣や花壇などのみどりの創出に努めます。



水とみどりの景観ゾーン（葛西用水沿い・古綾瀬川沿い・綾瀬川沿い）

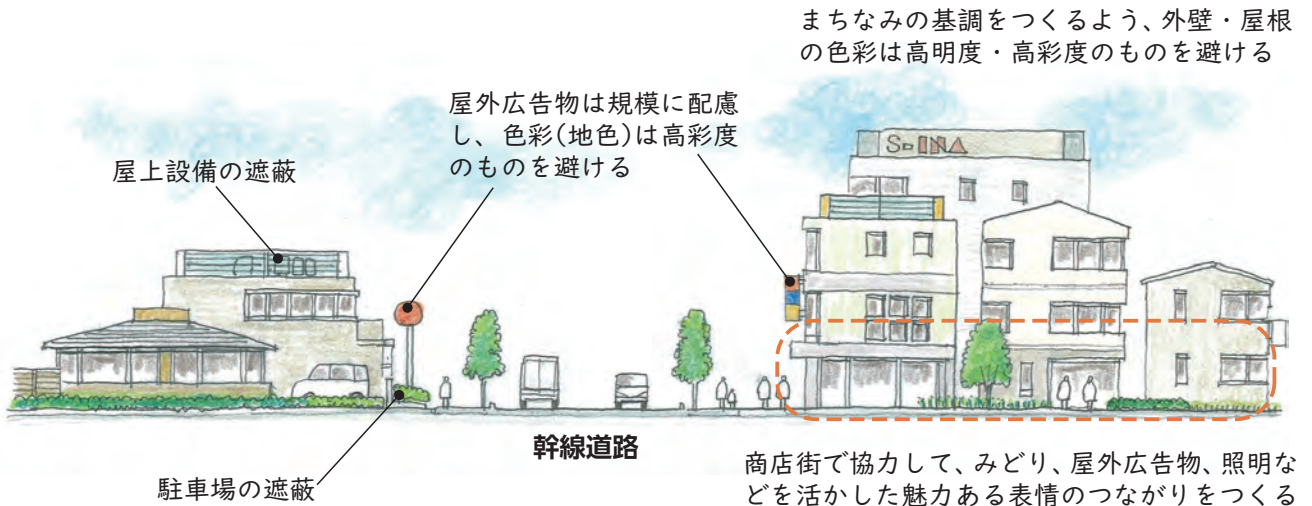
- 桜並木の維持・更新や散策路の整備を図ります。
- 水辺の開放的な眺めを阻害しないように、建築物・工作物の規模、形態意匠や色彩に配慮します。
- 水辺の開放的な眺めを活かし、また影が落ちた暗い水辺とならないように、建築物・工作物の配置、規模、形態意匠や色彩に配慮します。
- 住民が協力しながら、水辺の既存の樹木・樹林の保全や花とみどりの創出に努めます。
- 駐車場や資材置場などが景観を阻害しないよう、塀・柵・みどりによって遮蔽に努めます。



工場・倉庫・作業場などが周辺と調和するよう、形態意匠・色彩を整える

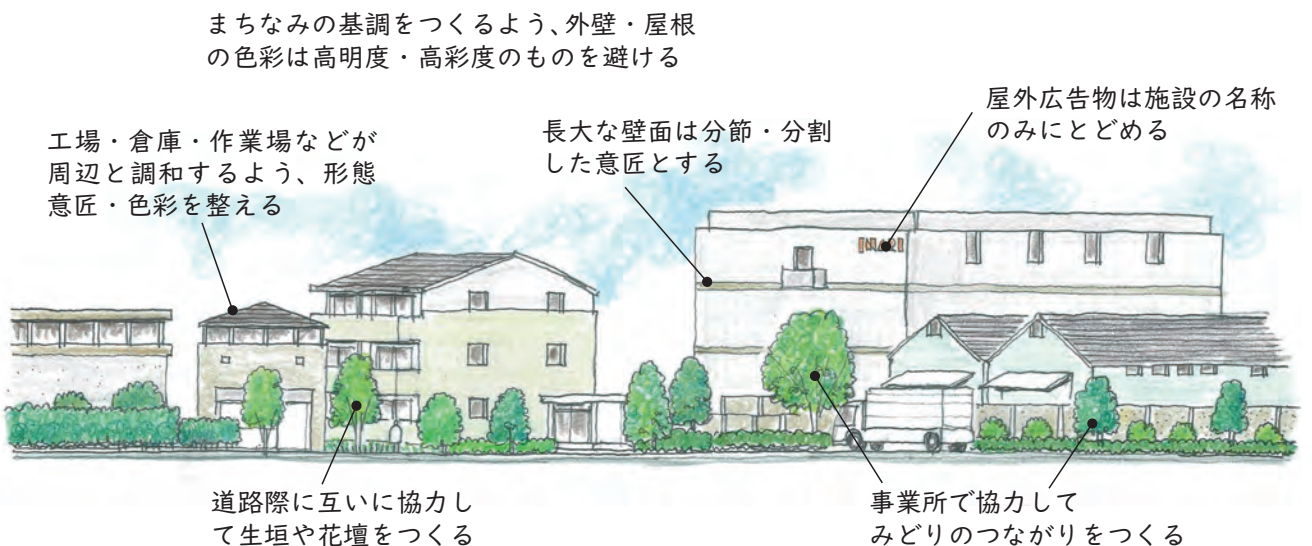
商業・工業のある景観ゾーン（幹線道路沿道）

- 車道や歩道からの眺めに配慮し、秩序のある建築物・工作物、屋外広告物の配置、規模、形態意匠や色彩に配慮します。
- 屋外広告物は、規模や数量が過大にならず、高彩度の色彩を避けるよう努めます。
- 駐車場や資材置場などが景観を阻害しないよう、塀・柵・みどりによって遮蔽に努めます。
- 沿道では、高木などによる、みどりの創出に努めます。



商業・工業のある景観ゾーン（工業団地）

- 圧迫感や違和感を与えないよう、建築物・工作物の配置、規模、形態意匠や色彩に配慮します。
- 長大な壁面が生じる場合は、分節・分割するなど、壁面の意匠に配慮します。
- 屋外広告物は、施設の名称にとどめるなど、必要最小限の規模や数量とし、高彩度の色彩を避けるよう努めます。
- 設備機器、駐車場や資材置場などが景観を阻害しないよう、塀・柵・みどりによって遮蔽に努めます。
- 敷地際では、高木などによる、みどりの創出に努めます。



8 谷塚西部地区

■対象町名

谷塚仲町、谷塚上町、両新田東町、両新田西町、新里町、柳島町、遊馬町

1 地区の景観の現況

- ・市の南西部に位置する地区で、南は足立区、西は川口市に接しています。
- ・地区全体は、戸建住宅を中心としながら、屋敷林や農地、身近な商業施設や小規模な工場・倉庫・作業場などが混在したまちなみ景観が形成されています。
- ・一部には、目立つ色彩の住宅や、コンテナ類と資材が露出した資材置場などが見られます。
- ・主な幹線道路として、国道4号線及び浦和東京線が南北に、草加三郷線が東西に通過しています。沿道には郊外型の商業施設や倉庫などが立地しており、一部には、規模が大きく、また高彩度の色彩の屋外広告物が見られ、秩序のない景観となっています。
- ・地区を南北に辰井川が、南側には毛長川が流れているほか、谷塚治水緑地及び柳島治水緑地が水とみどりの景観拠点となっています。
- ・屋敷林や農地などのみどりが多く点在し、地区の景観に安らぎを与えているほか、歴史を感じさせる社寺があります。



草加三郷線沿道（新里町）



辰井川と農地（谷塚上町）



谷塚治水緑地と周辺の住宅地

2 市民の意識や活動

市民の意識（「景観に関するアンケート調査結果」（平成29年度）から）

- ・住宅の敷地の緑化に対する意識が最も高い。
- ・みどりや歴史・文化資源の保全活動が必要と感じている人が多い。
- ・地域の景観づくりの取り組みへの参加意欲が高い。
- ・おすすめの景観としては、公園や広場などで人々が活動している風景などが多く挙げられている。

主な市民活動

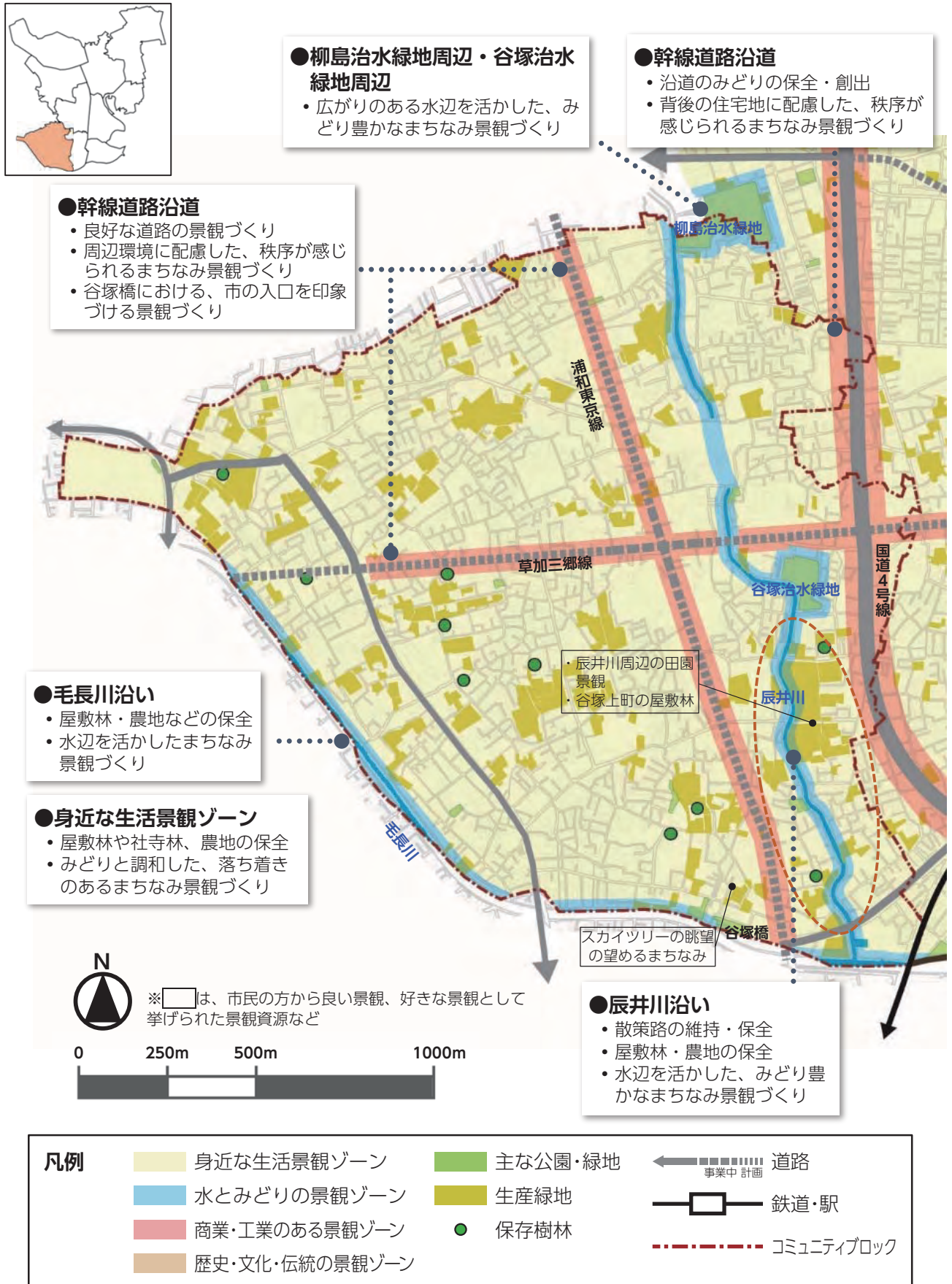
- ・町会・自治会によるごみ拾い
- ・町会・自治会による花畑の管理
- ・小学生を含む地域の方々による、両新田小学校付近のごみ拾い

3 景観づくりの目標

水とみどりを活かした、安らぎのあるまちなみ景観づくり

辰井川、毛長川の水辺と屋敷林・農地のみどりを活かした、住宅地と商業・工業施設が調和したまちなみ景観づくりをめざします。

■景観づくり方針図



4 ゾーンごとの景観づくりの方針

身近な生活景観ゾーン

- 屋敷林や農地、社寺林などの保全に努めるとともに、周辺では、みどりが引き立つ配置、形態意匠や色彩に配慮します。
- 建築物・工作物の配置、形態意匠や色彩は、身近な生活の場にふさわしい、落ち着いたものとしします。
- 国道4号線の西側では、ゆとりのある敷地やみどりを活かしたまちなみ景観の誘導を図ります。
- 歴史的な社寺の周辺では、これらと調和する建築物や塀・柵の形態意匠や色彩に配慮します。
- 駐車場や資材置場などが景観を阻害しないよう、塀・柵・みどりによって遮蔽に努めます。
- 道路際や水路敷を利用した通路沿いなどの目に付きやすい場所では、住民が協力しながら、生垣や花壇などのみどりの創出に努めます。

みどりを引き立てるよう、外壁・屋根の
色彩は高明度・高彩度のものを避ける

屋敷林とその眺めの保全

社寺や社寺林への
眺めの保全



玄関先の四季の移ろいを感じさせる
シンボルツリー

道路際に互いに協力して
生垣や花壇などをつくる

作業所の周囲をみどりや色彩
などに配慮した柵で遮蔽する

屋敷林とその眺めの保全

みどりを引き立てるよう、
外壁・屋根の色彩は高明度・
高彩度のものを避ける

工場・倉庫・作業場などが
周辺と調和するよう、形態
意匠・色彩を整える



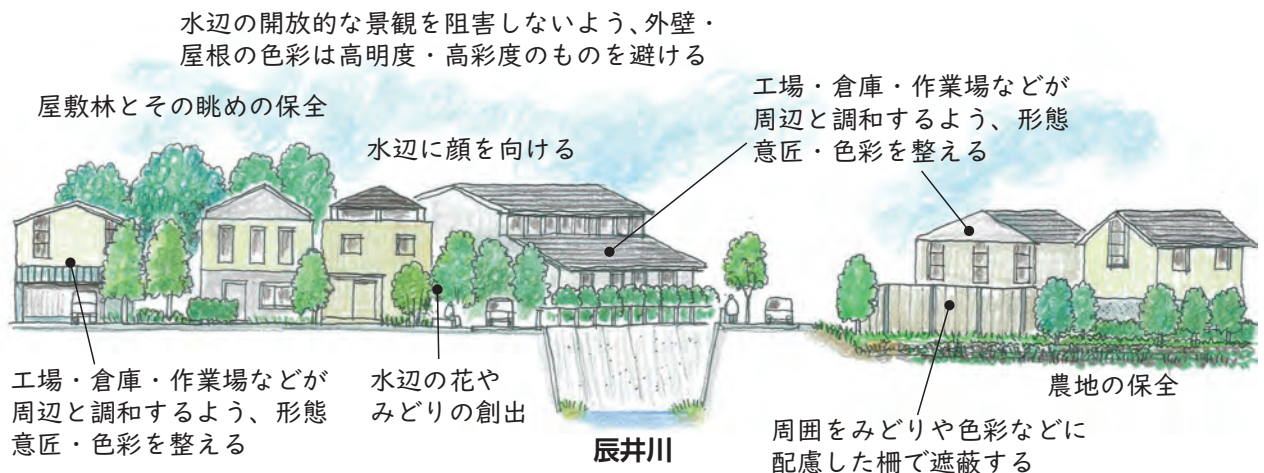
道路際の花やみどりの創出

農地の保全

周囲をみどりや色彩などに
配慮した柵で遮蔽する

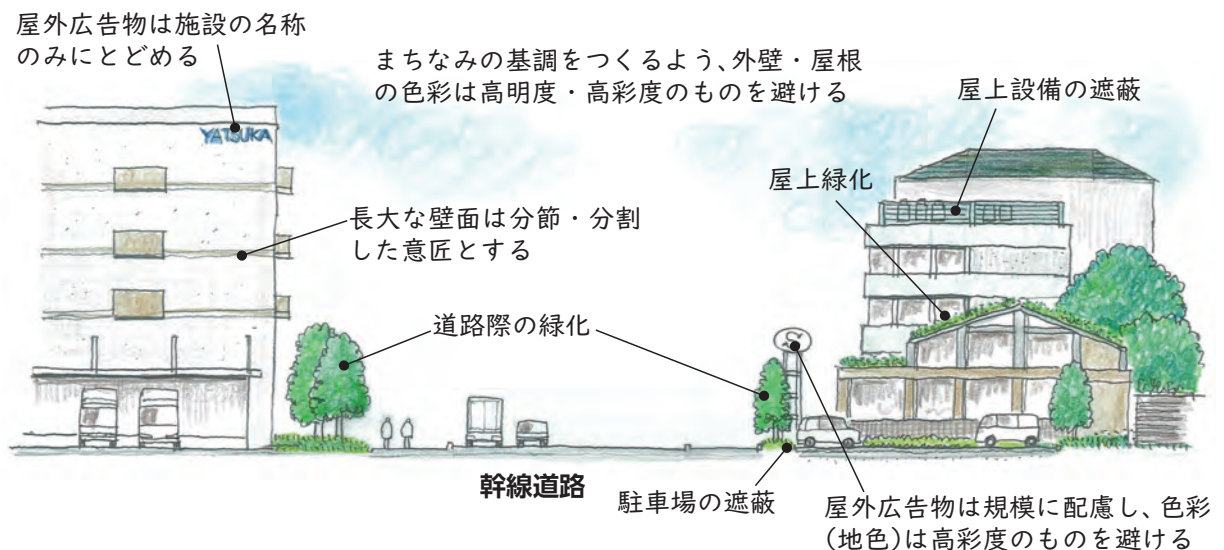
水とみどりの景観ゾーン (辰井川沿い・毛長川沿い・柳島治水緑地周辺・谷塚治水緑地周辺)

- 屋敷林や農地、社寺林などの保全に努めるとともに、周辺では、みどりが引き立つ配置、形態意匠や色彩に配慮します。
- 散策路の維持・保全を図ります。
- 水辺の開放的な眺めを阻害しないように、建築物・工作物の規模、形態意匠や色彩に配慮します。
- 水辺の開放的な眺めを活かし、また影が落ちた暗い水辺とならないように、建築物・工作物の配置、規模、形態意匠や色彩に配慮します。
- 住民が協力しながら、水辺の既存の樹木・樹林の保全や花とみどりの創出に努めます。
- 駐車場や資材置場などが景観を阻害しないよう、塀・柵・みどりによって遮蔽に努めます。



商業・工業のある景観ゾーン (幹線道路沿道)

- 車道や歩道からの眺めに配慮し、秩序のある建築物・工作物、屋外広告物の配置、規模、形態意匠や色彩に配慮します。
- 屋外広告物は、規模や数量が過大にならず、高彩度の色彩を避けるよう努めます。
- 駐車場や資材置場などが景観を阻害しないよう、塀・柵・みどりによって遮蔽に努めます。
- 沿道では、高木などによる、みどりの創出に努めます。
- 谷塚橋周辺では、市の入口を印象付ける景観づくりに努めます。



9 谷塚中央地区

■対象町名
谷塚町、谷塚 1 ～ 2 丁目

1 地区の景観の現況

- ・市の南部の中央に位置する地区で、南は足立区に接しています。
- ・谷塚駅東口・西口駅前には商業施設が立地しています。西口駅前周辺は、今後、まちづくりを進めるための用地もあります。
- ・その他のエリアは、戸建住宅を中心としながら、身近な商業施設や工場・倉庫・作業場などが混在しているほか、屋敷林や農地などのみどりが点在するまちなみ景観が形成されています。
- ・一部には、目立つ色彩の住宅や、コンテナ類と資材が露出した資材置場などが見られます。
- ・主な幹線道路として、国道 4 号線及び足立越谷線が南北に、草加三郷線が中央部を東西に通過しています。国道 4 号線沿いには郊外型の商業施設等が立地し、高彩度の色彩の屋外広告物や資材が露出した資材置場も見られます。
- ・地区の南部には毛長川が流れ、川沿いの桜並木が特徴的な景観となっています。



住宅地（谷塚町）



毛長川沿いの桜並木（谷塚 2 丁目）



谷塚駅西口の商店

2 市民の意識や活動

市民の意識（「景観に関するアンケート調査結果」（平成29年度）から）

- ・景観づくりに関する意識啓発などへの関心が高い。
- ・他地区に比べ公共施設や住宅の敷地の緑化に対する意識が高い。
- ・敷地の緑化や建物の形・デザインのルール化が必要と感じている人が多い。
- ・おすすめの景観としては、谷塚駅ホームなどからの眺望景観や田畑などの農地などが多く挙げられている。

主な市民活動

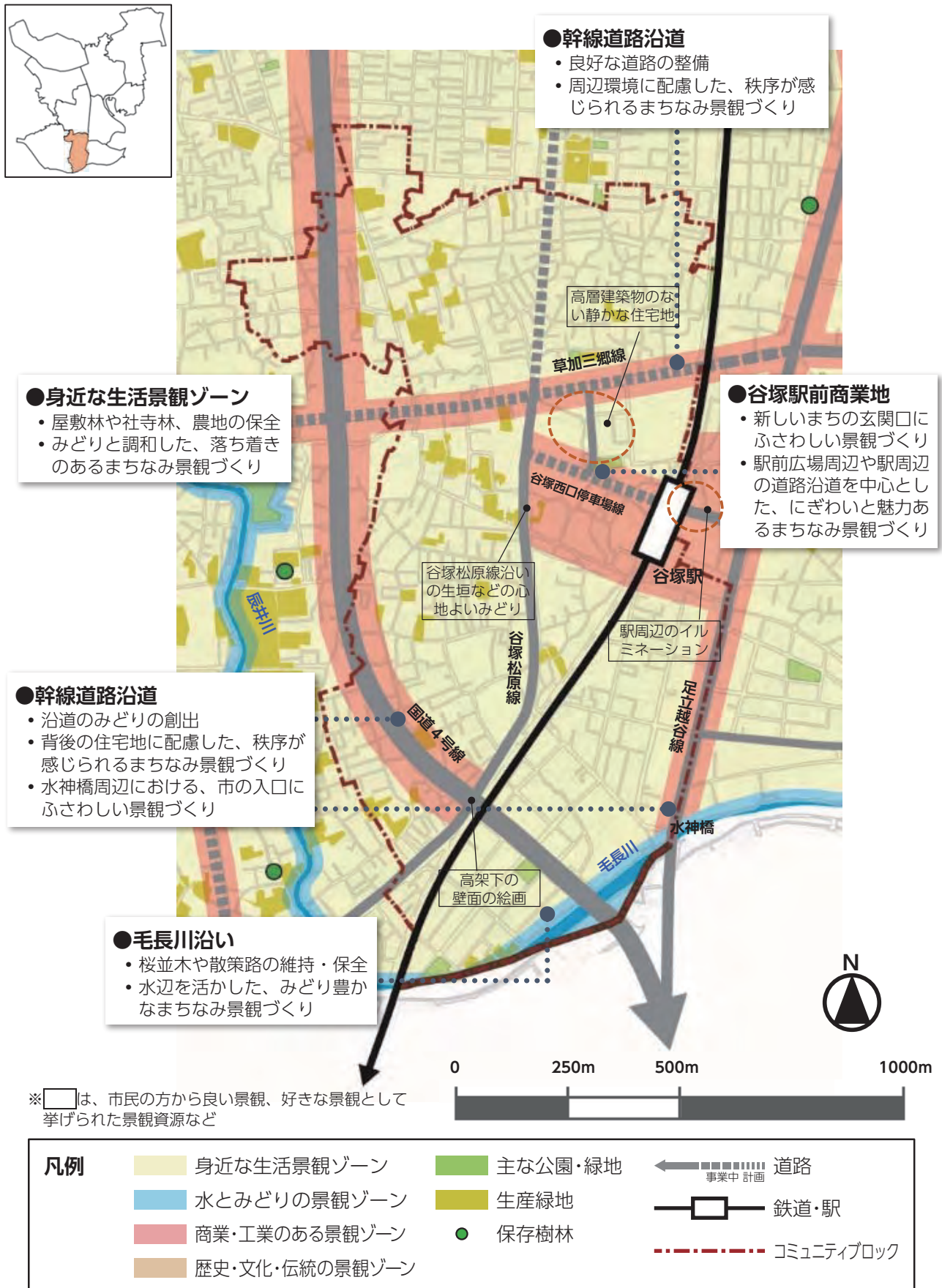
- ・町会・自治会によるごみ拾い活動
- ・町会・自治会による、毛長川沿い・谷塚西沼田公園の桜の植樹
- ・町会・自治会によるパトロールや花づくり活動など

3 景観づくりの目標

新たな市の南の顔となる、住宅と商業・工業施設が調和したまちなみ景観づくり

新たに整備される谷塚駅西口の魅力ある景観づくりとともに、毛長川の水辺と屋敷林・農地のみどりを活かした、うるおいのある住宅地と駅前や幹線道路沿道の商業施設、工業施設が調和したまちなみ景観づくりをめざします。

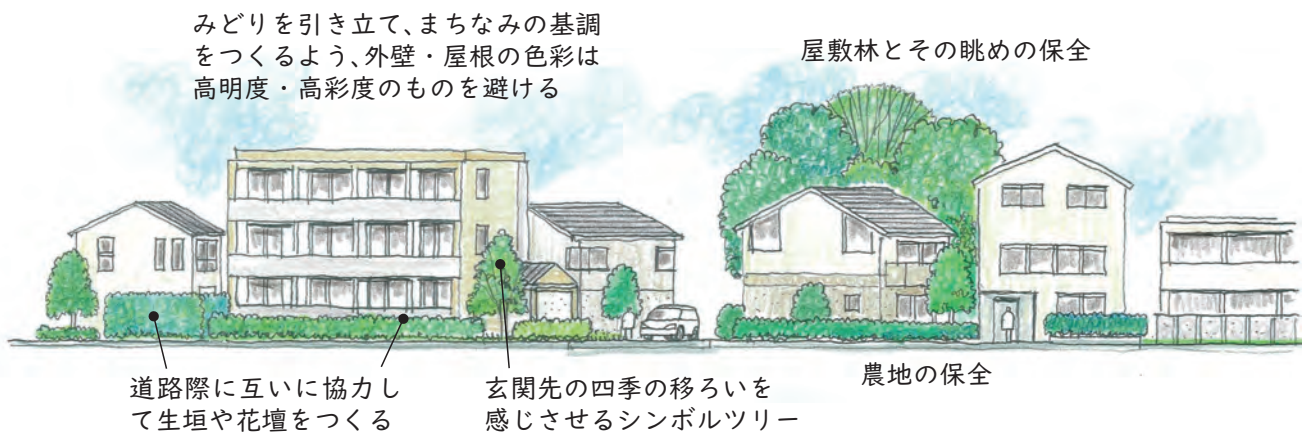
■景観づくり方針図



4 ゾーンごとの景観づくりの方針

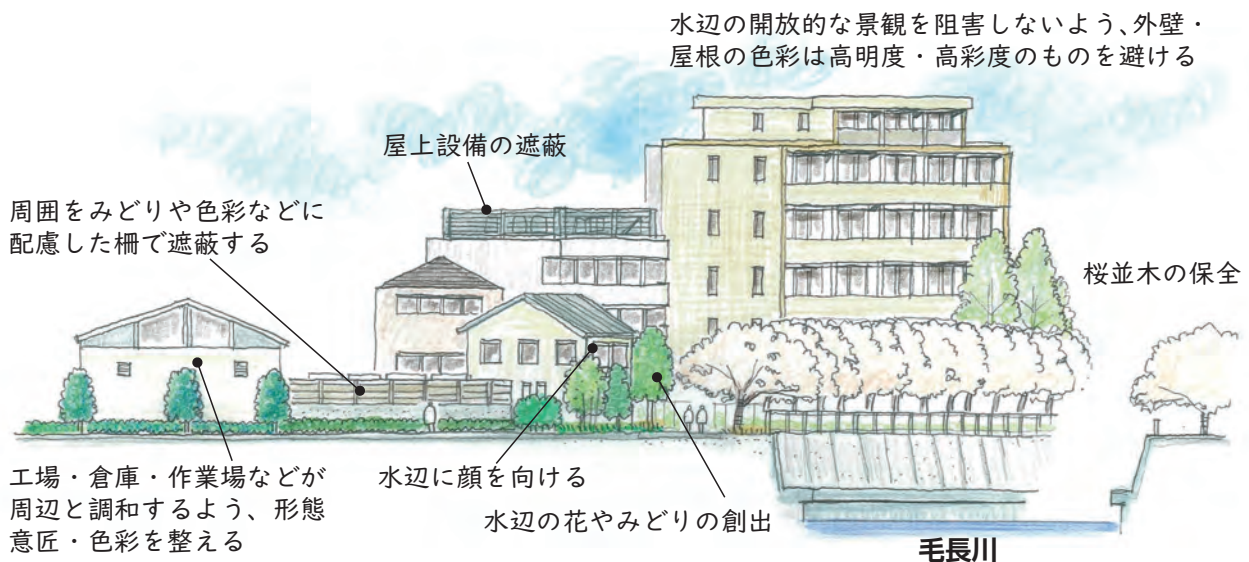
身近な生活景観ゾーン

- 屋敷林や農地、社寺林などの保全に努めるとともに、周辺では、みどりが引き立つ配置、形態意匠や色彩に配慮します。
- 建築物・工作物の配置、形態意匠や色彩は、身近な生活の場にふさわしい、落ち着いたものとしします。
- 歴史的な社寺の周辺では、これらと調和する建築物や塀・柵の形態意匠や色彩に配慮します。
- 駐車場や資材置場などが景観を阻害しないよう、塀・柵・みどりによって遮蔽に努めます。
- 道路際や水路敷を利用した通路沿いなどの目に付きやすい場所では、住民が協力しながら、生垣や花壇などのみどりの創出に努めます。



水とみどりの景観ゾーン（毛長川沿い）

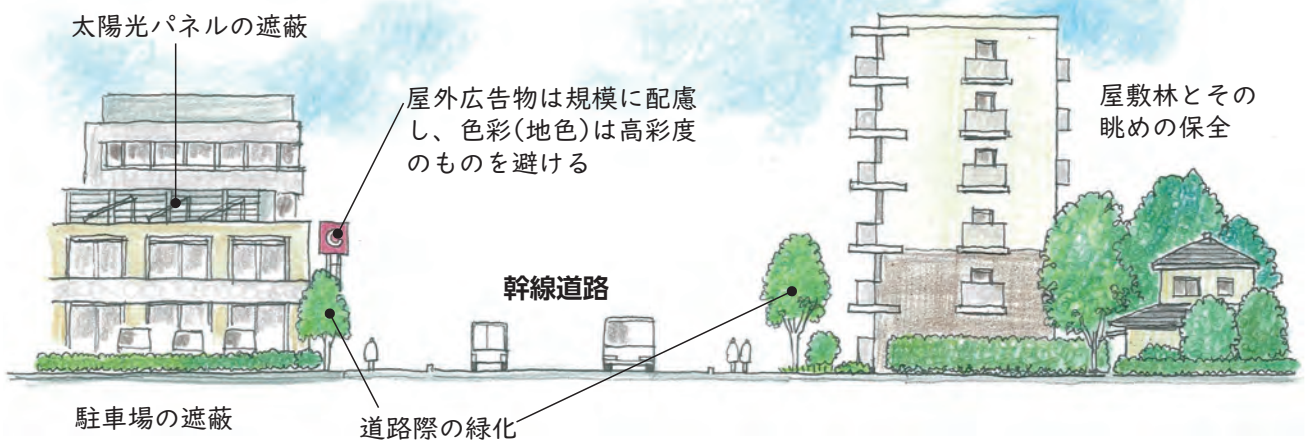
- 桜並木や散策路の維持保全を図ります。
- 水辺の開放的な眺めを阻害しないように、建築物・工作物の規模、形態意匠や色彩に配慮します。
- 水辺の開放的な眺めを活かし、また影が落ちた暗い水辺とならないように、建築物・工作物の配置、規模、形態意匠や色彩に配慮します。
- 住民が協力しながら、水辺の既存の樹木・樹林の保全や花とみどりの創出に努めます。
- 駐車場や資材置場などが景観を阻害しないよう、塀・柵・みどりによって遮蔽に努めます。



商業・工業のある景観ゾーン（幹線道路沿道）

- 車道や歩道からの眺めに配慮し、秩序のある建築物・工作物、屋外広告物の配置、規模、形態意匠や色彩に配慮します。
- 屋外広告物は、規模や数量が過大にならず、高彩度の色彩を避けるよう努めます。
- 駐車場や資材置場などが景観を阻害しないよう、塀・柵・みどりによって遮蔽に努めます。
- 沿道では、高木などによる、みどりの創出に努めます。
- 水神橋周辺では、市の入口を印象付ける景観づくりに努めます。

みどりを引き立てるよう、外壁・屋根の色彩は高明度・高彩度のものを避ける



商業・工業のある景観ゾーン（谷塚駅前商業地）

- 谷塚西口停車場線沿道を中心として、建築物等や屋外広告物の規模、形態意匠や色彩に配慮し、連続性のあるまちなみ景観づくりに努めます。
- にぎわいの創出や歩行者に魅力を与える表情づくりのために、低層部の壁面の後退や店舗のしつらえなどを工夫します。
- 歴史的な社寺の周辺では、調和する建築物や塀・柵の形態意匠や色彩に配慮します。
- 道路際では、壁面緑化、プランターなどの多様なみどりの創出に努めます。
- 駅前の商店街などでは、互いに協力しながら、にぎわいのある表情づくりを工夫します。

まちなみの基調をつくるよう、外壁・屋根の色彩は高明度・高彩度のものを避ける



商店街で協力して、みどり、屋外広告物、照明などを活かした魅力ある表情のつながりをつくる

10 谷塚東部地区

■対象町名
瀬崎 1～7丁目

1 地区の景観の現況

- ・市の南部に位置する地区で、南は足立区、東は八潮市に接しています。
- ・谷塚駅東口周辺には商業施設やマンションなどの集合住宅が立地しています。
- ・その他のエリアは、戸建住宅を中心としながら、身近な商業施設や工場・倉庫・作業場などが混在しているほか、屋敷林や農地などのみどりが点在したまちなみ景観が形成されています。
- ・一部には、目立つ色彩の住宅や、コンテナ類と資材が露出した資材置場などが見られます。
- ・谷塚駅に近い足立越谷線沿いには歴史的な社寺があり、みどり豊かな特徴的な景観をつくり出しています。
- ・主な幹線道路として、足立越谷線及び瀬崎東町線が南北に、草加三郷線及び草加南通線が東西に通過しています。足立越谷線沿道には商業施設や集合住宅などが立地しており、一部には、高彩度の色彩や規模の大きな屋外広告物が見られます。
- ・地区の南部には毛長川が流れ、川沿いの桜並木と広がりのある空間が特徴的な景観となっているほか、東部にはゆとりのある景観を形成している伝右川が流れています。



住宅地（瀬崎 4 丁目）



毛長川（瀬崎 4 丁目）



谷塚駅東口駅前

2 市民の意識や活動

市民の意識（「景観に関するアンケート調査結果」（平成29年度）から）

- ・地域の景観づくりを先導するような公共施設の整備への関心が高い。
- ・廃棄物置場や資材置場が景観を阻害していると感じている人が多い。
- ・おすすめの景観としては、浅間神社に関する景観や毛長川周辺からの景観などが多く挙げられている。

主な市民活動

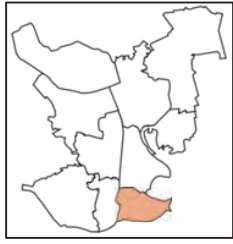
- ・町会・自治会による公園の清掃
- ・ごみ拾い活動
- ・町会・自治会・商店街によるクリスマスイルミネーションなどの実施

3 景観づくりの目標

市の南の顔にふさわしい、住宅と商業・工業施設が調和したまちなみ景観づくり

谷塚駅東口の魅力ある景観づくりとともに、毛長川の水辺と屋敷林・農地のみどりを活かした、うるおいのある住宅地と駅前や幹線道路沿道の商業施設、工業施設が調和したまちなみ景観づくりをめざします。

■景観づくり方針図



●幹線道路沿道

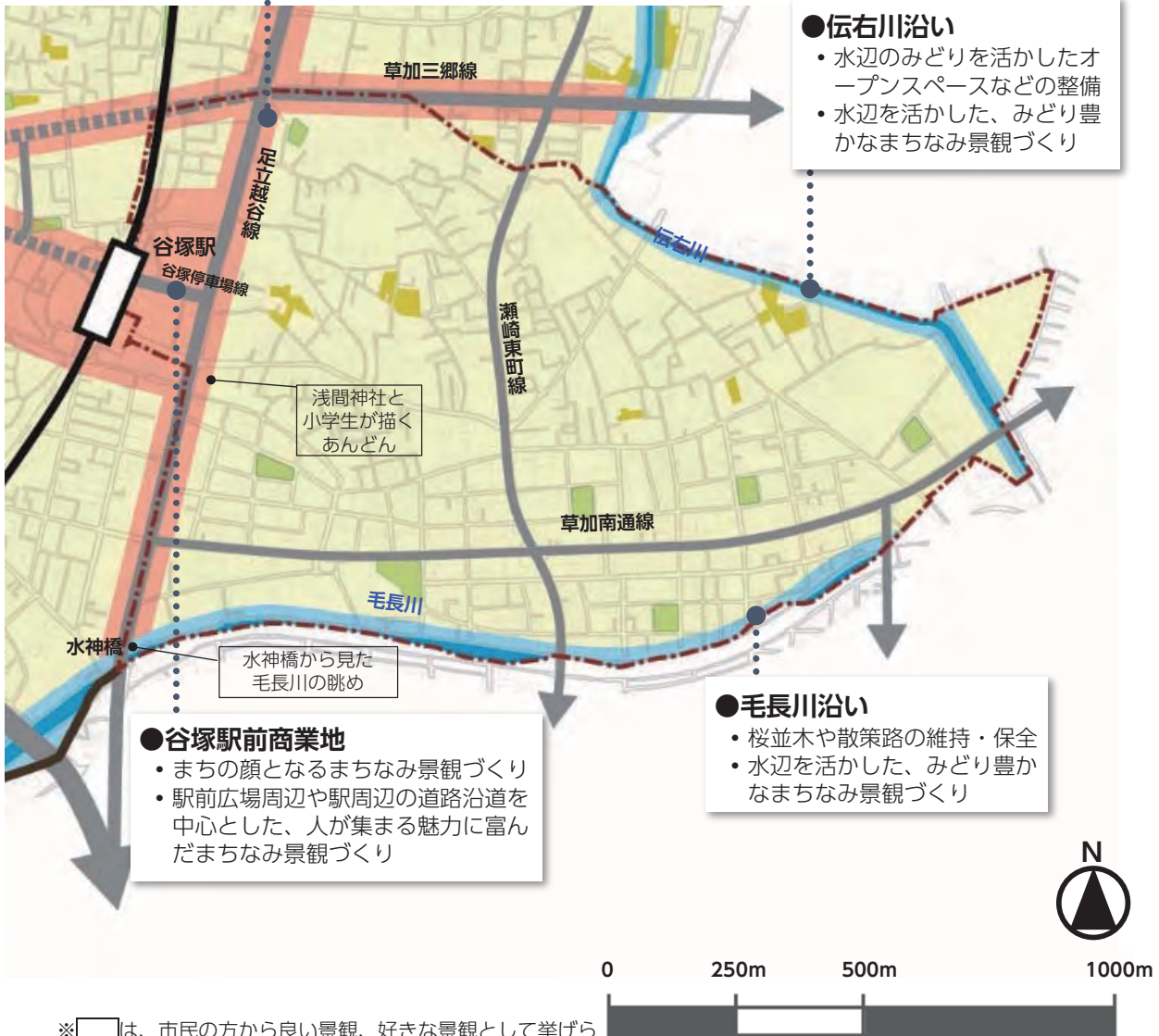
- ・社寺のみどりや周辺環境に配慮した、秩序が感じられるまちなみ景観づくり
- ・水神橋周辺における、市の入口にふさわしい景観づくり

●身近な生活景観ゾーン

- ・屋敷林や社寺林、農地の保全
- ・みどりと調和した落ち着いたまちなみ景観づくり

●伝右川沿い

- ・水辺のみどりを活かしたオープンスペースなどの整備
- ・水辺を活かした、みどり豊かなまちなみ景観づくり



●谷塚駅前商業地

- ・まちの顔となるまちなみ景観づくり
- ・駅前広場周辺や駅周辺の道路沿道を中心とした、人が集まる魅力に富んだまちなみ景観づくり

●毛長川沿い

- ・桜並木や散策路の維持・保全
- ・水辺を活かした、みどり豊かなまちなみ景観づくり

※は、市民の方から良い景観、好きな景観として挙げられた景観資源など

凡例

- 身近な生活景観ゾーン
- 水とみどりの景観ゾーン
- 商業・工業のある景観ゾーン
- 歴史・文化・伝統の景観ゾーン

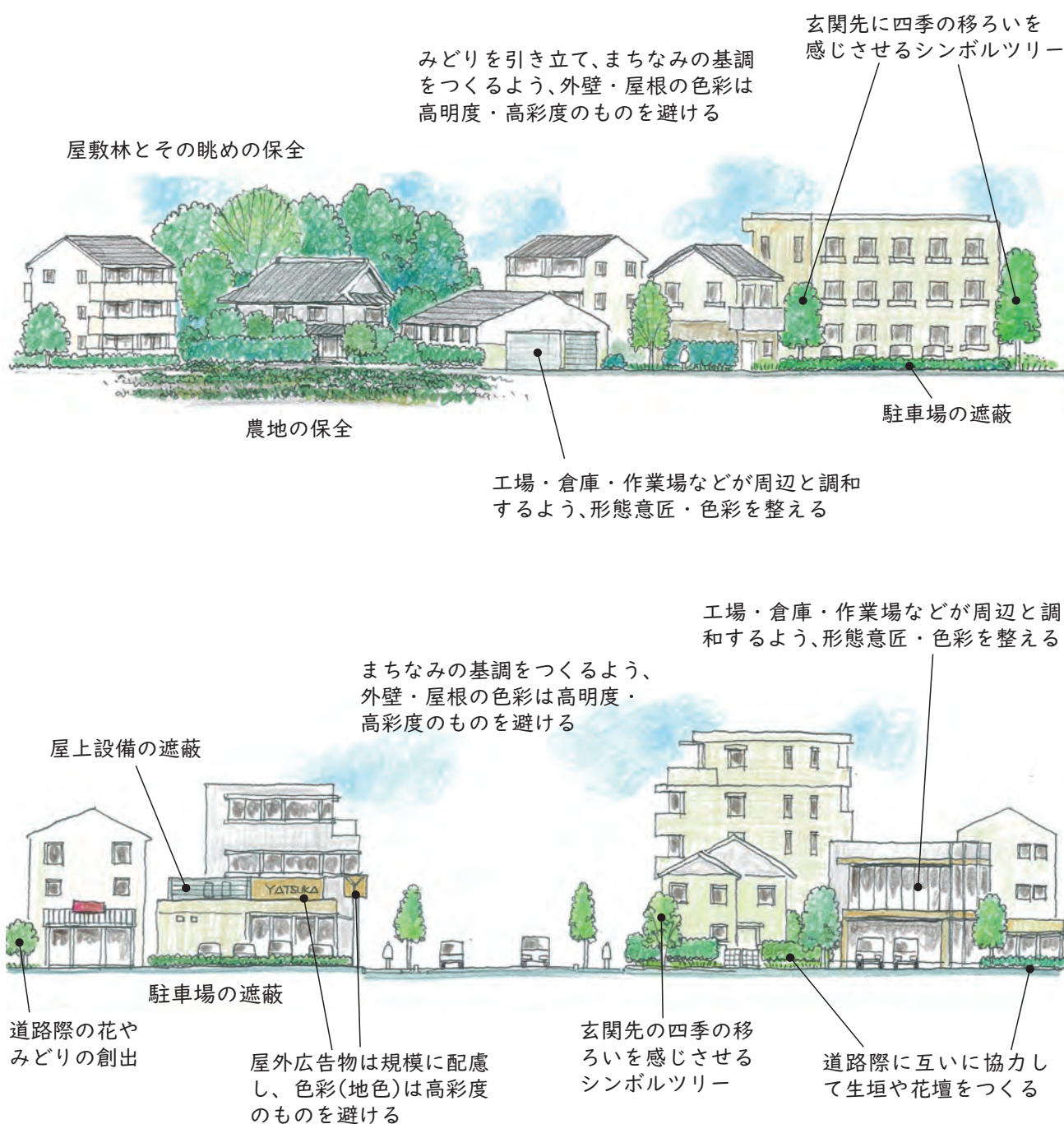
- 主な公園・緑地
- 生産緑地
- 保存樹林

- 道路
事業中 計画
- 鉄道・駅
- コミュニティブロック

4 ゾーンごとの景観づくりの方針

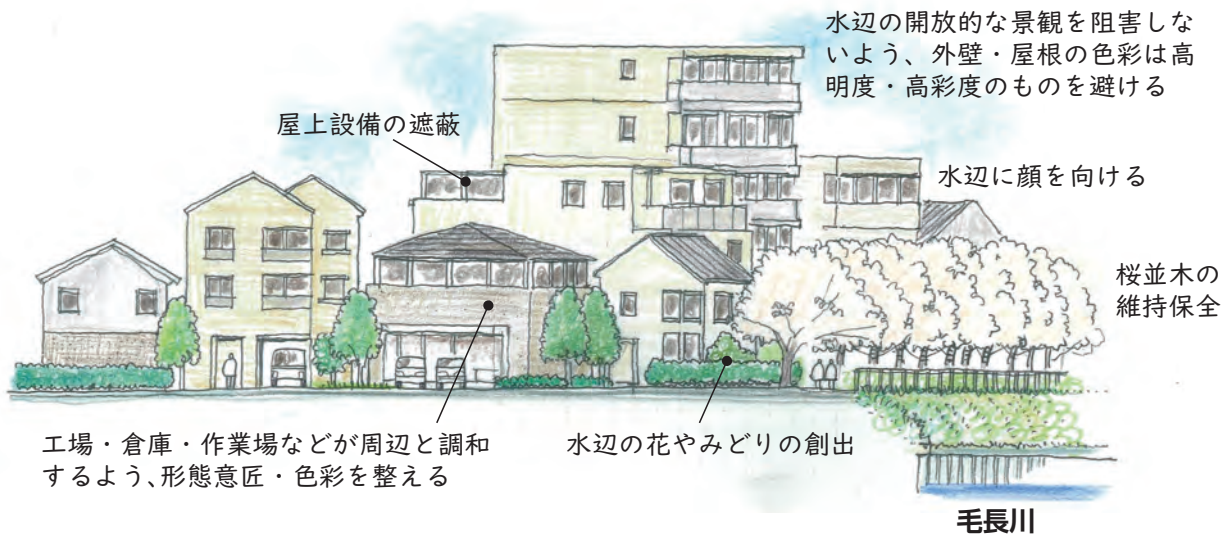
身近な生活景観ゾーン

- 屋敷林や農地、社寺林などの保全に努めるとともに、周辺では、みどりが引き立つ配置、形態意匠や色彩に配慮します。
- 建築物・工作物の配置、形態意匠や色彩は、身近な生活の場にふさわしい、落ち着いたものとしします。
- 歴史的な社寺の周辺では、これらと調和する建築物や塀・柵の形態意匠や色彩に配慮します。
- 駐車場や資材置場などが景観を阻害しないよう、塀・柵・みどりによって遮蔽に努めます。
- 道路際や水路敷を利用した通路沿いなどの目に付きやすい場所では、住民が協力しながら、生垣や花壇などのみどりの創出に努めます。



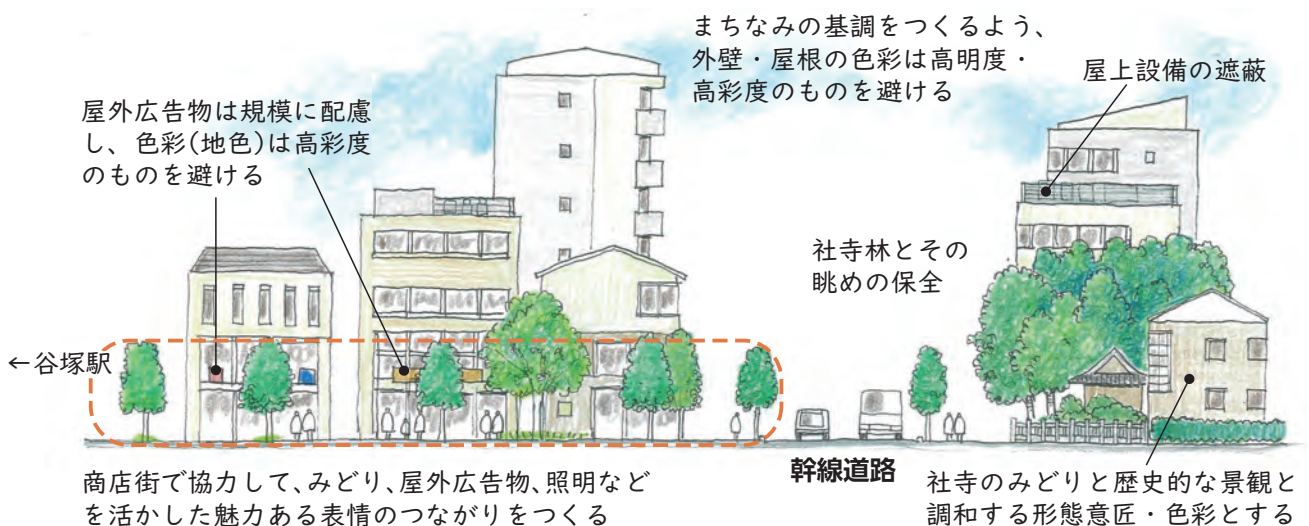
水とみどりの景観ゾーン（毛長川沿い・伝右川沿い）

- 桜並木や散策路の維持保全を図ります。
- 水辺の開放的な眺めを阻害しないよう、建築物・工作物の規模、形態意匠や色彩に配慮します。
- 水辺の開放的な眺めを活かし、また影が落ちた暗い水辺とならないよう、建築物・工作物の配置、規模、形態意匠や色彩に配慮します。
- 住民が協力しながら、水辺の既存の樹木・樹林の保全や花とみどりの創出に努めます。
- 駐車場や資材置場などが景観を阻害しないよう、塀・柵・みどりによって遮蔽に努めます。



商業・工業のある景観ゾーン（谷塚駅前商業地・幹線道路沿道）

- 谷塚停車場線沿道をはじめとして、幹線道路沿道の建築物・工作物や屋外広告物の規模、形態意匠や色彩に配慮し、連続性のあるまちなみ景観づくりに努めます。
- にぎわいの創出や歩行者に魅力を与える表情づくりのために、低層部の壁面の後退や店舗のしつらえなどを工夫します。
- 歴史的な社寺の周辺では、調和する建築物や塀・柵の形態意匠や色彩に配慮します。
- 道路際では、壁面緑化、プランターなどの多様なみどりの創出に努めます。
- 駅前の商店街などでは、互いに協力しながら、にぎわいのある表情づくりを工夫します。
- 水神橋周辺では、市の入口を印象付ける景観づくりに努めます。



3 景観重点地区の景観づくりの目標と方針

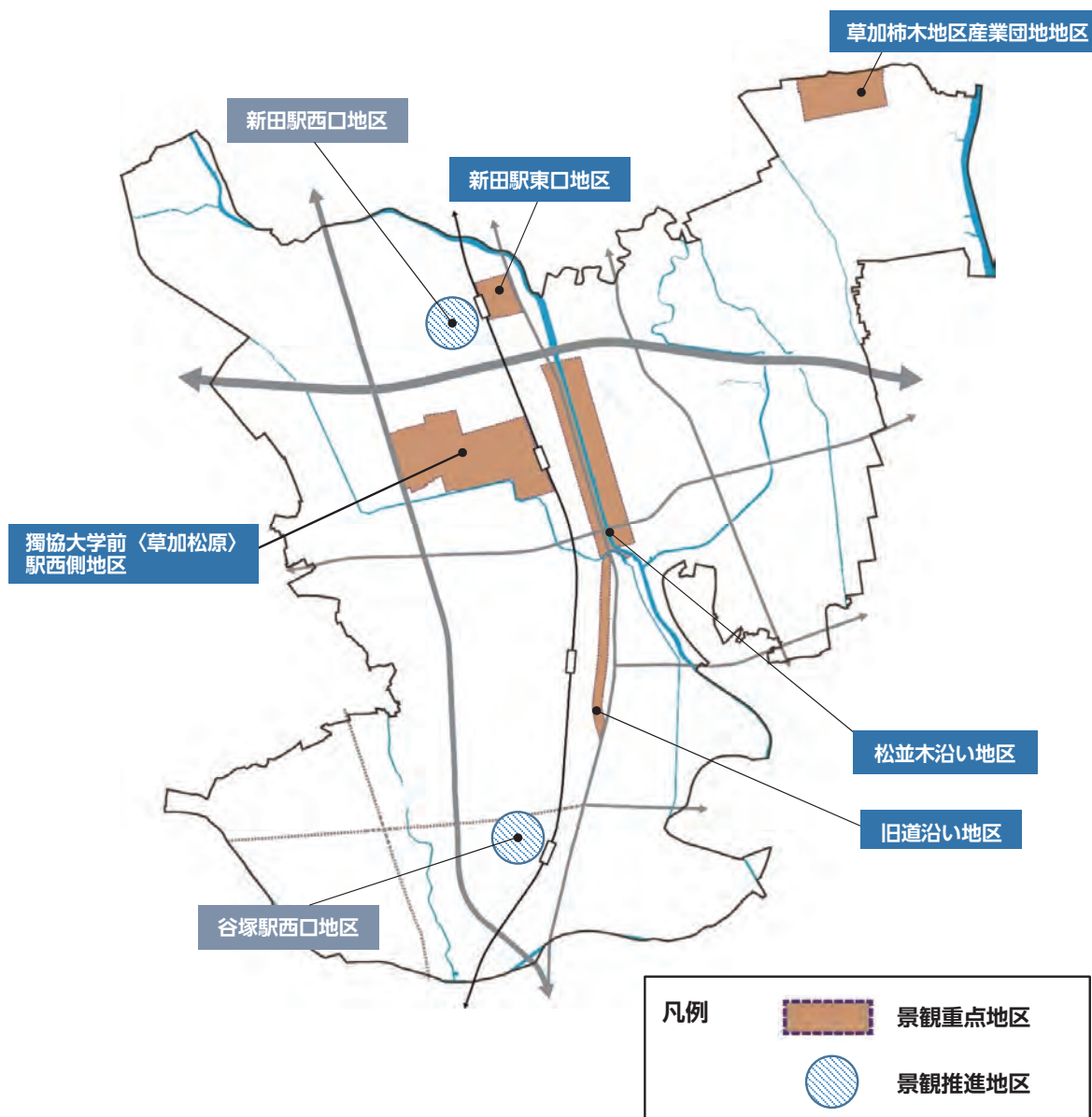
ゾーン別の景観づくりの方針とコミュニティブロック（地区）別の景観づくりの目標と方針を踏まえ、市が市民、事業者とともに、景観づくりを重点的に推進すべき地区を「景観重点地区」として位置付け、次の目標と方針に基づき景観づくりを進めていきます。

景観重点地区として、これまでの「松並木沿い地区」、「旧道沿い地区」に、「草加柿木地区産業団地地区」、「新田駅東口地区」、「獨協大学〈草加松原〉駅西側地区」を加えた5地区を位置付けます。

景観重点地区では、行政は、公共施設やサイン、照明、柵などの整備に当たっては景観重点地区であることに配慮し、また、必要に応じて支援制度などを検討するとともに、市民・事業者の皆様と連携しながら、積極的に良好な景観づくりに力を入れていきます。

なお、新田駅西口地区、谷塚駅西口地区など、今後のまちづくりの進展に合わせて景観重点地区に位置付けていく地区を「景観推進地区」とします。

■景観重点地区・景観推進地区位置図



■景観重点地区の景観づくりの目標と方針

地区・景観づくりの目標	景観づくりの方針
松並木沿い地区	
市の景観上のシンボルである松並木があり、草加松原遊歩道とまつばら綾瀬川公園とともに雄大な景観をつくり出していることから、こうした地域固有の景観と調和した、にぎわいのあるまちなみ景観づくりをめざします。	● 草加松原の保存・活用を進めます ● 周辺環境の整備に当たっては草加松原との調和に最大限配慮し、良好な景観を保全します ● 松並木への眺めの保全と、その眺めを活かしたまちなみ景観づくりを進めます ● 幹線道路沿道を中心とした、歩いて楽しい景観づくりを進めます ● 草加松原と調和したまちなみ景観づくりのため、建築物・工作物等の修景をめざします
旧道沿い地区	
かつて草加宿として栄えた歴史的・文化的遺産を継承しながら、地域固有の歴史的、文化的、伝統的な資源と調和し、にぎわいのあるまちなみ景観づくりをめざします。	● 旧日光街道における、沿道のまちなみと調和した道路の整備による良好な景観を保全します ● 旧日光街道沿いにおける、草加宿の歴史や文化、伝統を活かしたにぎわいのあるまちなみ景観づくりを進めます ● シンボルとなる市庁舎の整備と周辺における一体的な景観づくりを進めます ● 旧日光街道沿いを中心とした、歩いて楽しい景観づくりを進めます ● 地区の協定に基づく景観づくりを進めます
草加柿木地区産業団地地区	
みどりに囲まれ、田園景観と調和した産業団地の景観づくりをめざします。	● 施設整備に当たっては周辺の田園景観との調和に配慮します ● 自然環境と調和する緑化やオープンスペースの積極的な創出による、みどりに包まれた景観づくりを進めます ● 広告物の大きさやデザインの統一をめざします ● 産業団地整備地区の周辺の田園風景を保全します
新田駅東口地区	
新田駅周辺のにぎわいのある商業地と住宅地が調和したまちなみ景観づくりをめざします。	● 道路や駅前広場の整備による良好な景観づくりを進めます ● 駅周辺の商業地と住宅地が調和したまちなみ景観づくりを進めます ● 駅周辺や新田停車場線沿道を中心とした、もてなしと、にぎわいのあるまちなみ景観づくりを進めます ● もてなしのニワと小さなみどり、季節や風を感じる環境の整備による景観づくりを進めます
獨協大学前〈草加松原〉駅西側地区	
大規模な土地利用の更新に伴う、ゆとりのある建築物の配置や色彩などの誘導、オープンスペースの確保とともに、地区の骨格となる道路及び公園等の整備により、秩序ある良好なまちなみ景観をつくり出していきます。	● 地区の骨格となる道路、公園、緑道などの整備により良好な景観づくりを進めます ● 住宅とみどりが調和した落ち着いたまちなみ景観づくりを進めます ● 商業施設とみどりが調和した秩序のあるまちなみ景観づくりを進めます ● 伝右川を活かしながら、水辺空間とみどり、オープンスペースが連続した、歩いて楽しく、うるおいのある景観づくりを進めます